

本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第1章 ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

第2章 快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

第3章 再インストール

本パソコンを使用していて思うように動かないときや、あらかじめインストールされているソフトウェアを誤って消してしまったときなどに行う「再インストール」について説明しています。

第4章 困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

第5章 技術情報

留意事項および Save To Disk 領域について説明しています。

目次

本書をお読みになる前に	5
本書の表記	5

第1章 ご購入後の操作

1 セットアップ	10
Windows セットアップ	10
タッチパネルの調整 ([MC] タッチパネルモデル)	13
ユーザー登録について	14
Windows 起動ディスクを作成してください	15
ドライブーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー	15
2 プレインストール仕様	17
ソフトウェア一覧	17
デバイス一覧	20
ドライブ構成	21
アプリケーションのアンインストール	22

第2章 快適にお使いいただくために

1 コンピュータウイルス対策	26
VirusScan	26
コンピュータウイルスを発見した場合	27
コンピュータウイルスの被害届け	27
2 MS-DOS モードで CD-ROM を利用する	28
MS-DOS モードで CD-ROM をご使用になる場合	28
3 画面を設定する	29
解像度と色数	29
表示装置を切り換える	30
全画面表示に切り換える	32
4 モデムを設定する	33
5 赤外線通信	34
赤外線通信の概要	34
Intellisync	35
6 省電力	37
サスPEND/レジューム機能	37
7 液晶ディスプレイの明るさを設定する	43
明るさを変更する	43

8 音量を設定する	44
キーボードで調節する	44
画面上の音量つまみで設定する	44
再生時／録音時の音量設定について	45

第3章 再インストール

1 インストールの流れ	50
2 インストールの準備	52
ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて	52
ハードディスクの圧縮を解除する	53
ハードディスクの領域を設定する	54
ポータブル CD-ROM ドライブを使うには	58
3 OS／ドライバのインストール	60
Windows の新規インストール	60
USB サポートのインストール	68
ハードディスクの DMA の設定	70
西暦 2000 年問題に関する留意事項	71
4 ドライバおよびユーティリティのインストール	72
DirectX7.0a のインストール	72
ディスプレイドライバのインストール	72
サウンドドライバのインストール	76
モデムドライバのインストール（モデム搭載モデル）	79
LAN ドライバのインストール（LAN 搭載モデル）	81
赤外線通信の設定	82
3 モードフロッピーディスクドライバのインストール	83
プリンタの設定	84
5 プレインストールソフトのインストール	85
Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール	85
タッチパネルドライバのインストール（[MC] タッチパネルモデル）	87
省電力管理ユーティリティのインストール	88
Intel SpeedStep のインストール（FMV-6700MF9/X）	88
Windows 環境調査ツール（WinDiag）のインストール	89
Acrobat Reader のインストール	89
Intellisync のインストール	90
FM 一発修正のインストール	90

6 添付ソフトのインストール	91
Internet Explorer 3.02 のインストール	91
セキュリティボタンのインストール	91
ワンタッチボタン設定のインストール	92
VirusScan のインストール	92
はじめよう！インターネット（@nifty）のインストール	92
Alps Pointing-device Driver のインストール [MF]	93
クイックポイントIV ドライバのインストール ([MC] ベースモデル)	94
MS-IME97A のインストール	95
7 ソフトウェアライブラリのアップデート	96
アップデート方法	96

第4章 困ったときに

1 こんなときには	98
トラブル発生時の参考先	98
トラブルシューティング	98
2 それでも解決できないときは	104
お問い合わせ一覧	105
お問い合わせ前の確認シート	106

第5章 技術情報

1 Save To Disk 領域	108
2 その他の留意事項	111

索引	117
-----------------	-----

本書をお読みになる前に

本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
 ● ►	参照ページや参照マニュアルを示しています。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:
↑ ↑

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ]と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROM ドライブ] : \$setup. exe

画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニュー やサブメニュー または項目を、「→」(ハイフン) でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」→「フロッピーディスク A」: 使用しない

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、『システム構成図』をご覧ください。

周辺機器の使用方法については周辺機器のマニュアルをご覧ください。

お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2001 年 4 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください (⇒ 『修理サービス網一覧表』参照)。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows	Windows Me
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION		Windows 98
Microsoft® Windows® 95 operating system		Windows 95
Microsoft® Windows® 2000 Professional		Windows 2000
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0		Windows NT
Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V	MS-DOS	
Intellisync® for Notebooks	Intellisync	
USB Supplement for Windows® 95	USB	
VirusScan Ver.4.5.0 with SP1	VirusScan	
Adobe® Acrobat® Reader 4.05	Acrobat Reader	
Intel® SpeedStep™ Technology Applet	Intel SpeedStep	
ドライバーズ CD / マニュアル CD	ドライバーズ CD	

機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記	
FMV-6700MF9/X	[MF]	本パソコン パソコン本体
FMV-660MF9/X		
FMV-660MC9/W	[MC]	

モデル	本文中の表記
モデム搭載	モデム搭載モデル
LAN 搭載	LAN 搭載モデル
[MC] タッチパネル搭載	[MC] タッチパネルモデル
[MC] タッチパネル搭載なし	[MC] ベースモデル

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。

Puma Technology、Intellisync は米国ブーマテクノロジー社の商標です。

ZAURUS は、シャープ株式会社の登録商標です。

Intel® SpeedStep™ Technology は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2001

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

Memo

第1章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

1 セットアップ	10
2 プレインストール仕様	17

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows の初期設定 (Windows セットアップ) について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

Windows セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。なお、内蔵ポインティングデバイスがない場合には、あらかじめマウスを用意してください。

留意事項

- Windows セットアップを行う前に、周辺機器を取り付けないでください。
Windows セットアップを行う前に周辺機器を取り付けると、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。
- Windows セットアップ時に音が鳴ります。スピーカーのボリュームを調整してください
($\cdots\blacktriangleright$ 『ハードウェアガイド』参照)。
- Windows セットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されてから、ポインティングデバイスで操作してください。
- 本パソコンの省電力機能により、Windows セットアップの途中で、しばらく操作をしないと、画面が真っ暗になります。本パソコンの電源は切断されていないので、MAIN スイッチを OFF にしないでください。MAIN スイッチを OFF にすると、本パソコンのデータが壊れ、正常に動作しなくなる場合があります。
画面が真っ暗になった場合は、次の操作を行ってください。Windows のセットアップ画面が表示され、操作を続けることができます。
 - 1 ポインティングデバイスを操作します。
 - 2 キーボードを操作します。また、状態表示 LCD の SUS/RES 表示 (①) が点滅している場合は、SUS/RES スイッチを押してください ($\cdots\blacktriangleright$ 『ハードウェアガイド』参照)。

セットアップ

1 パソコン本体下面の Product ID (Product Key) を確認し、書き留めます。

セットアップ中に必要になります。必ず書き留めてください。



2 内蔵ポインティングデバイスがない場合、マウスを取り付けます ($\cdots\blacktriangleright$ 『ハードウェアガイド』参照)。

3 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます。

しばらくすると「Windows 95 セットアップウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

4 「名前」と「会社名」を入力します。 **POINT**

- ▶ 「会社名」は省略できます。
- ▶ 会社などでパソコンを共有して使用する場合は、「名前」のかわりに部署名などを入力することもできます。

5 「次へ」をクリックします。

使用許諾契約書が表示されます。

「使用許諾契約書」とは、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したもので

6 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックして「次へ」をクリックします。 **POINT**

- ▶ 「同意しない」をクリックした場合は、「次へ」をクリックしたあと、メッセージに従って操作してください。

Product ID (Product Key) を入力するダイアログボックスが表示されます。

7 手順1で確認したProduct ID(Product Key)を入力し、「次へ」をクリックします。
「ウィザードの開始」ダイアログボックスが表示されます。**8 「完了」をクリックします。**

このあと LAN 搭載モデルの場合、「このコンピュータをネットワーク上で識別するためには、コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示されます。

LAN 機能を内蔵していない場合は手順 14 に進んでください。

9 「OK」をクリックします。

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

10 「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力し、「閉じる」をクリックします。 **重要**

- ▶ ここでは、「コンピュータ名」と「ワークグループ」、および「コンピュータの説明」以外の設定を行わないでください。他の設定を行うと、Windows セットアップ中にエラーが発生することがあります。他の設定は Windows セットアップ終了後に行ってください。なお、「コンピュータの説明」は省略することができます。
- ▶ 「コンピュータ名」と「ワークグループ」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、すべて「はい」をクリックしてください。

ファイルのコピー終了後、再起動メッセージが表示されます。

11 「はい」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「パスワード」を入力するダイアログボックスが表示されます。

12 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

 **POINT**

- ▶ 「ユーザー名」と「パスワード」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ▶ 「パスワード」は省略することができます。
- ▶ 「パスワード」を入力した場合、起動時に毎回「パスワード」を入力する必要があります。「パスワード」は忘れないでください。

「Windows パスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。

13 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

「パスワード」を省略した場合は何も入力しないで「OK」をクリックします。

14 「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

Microsoft Exchange の設定が行われます。しばらくすると、「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

15 「キャンセル」をクリックします。

 **POINT**

- ▶ プリンタの設定は、Windows セットアップ終了後に行ってください。Windows セットアップ中に設定を行うと、正しく印刷できないことがあります。

再起動メッセージが表示されます。

16 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

セットアップ後

ご使用の機種やモデルに応じて、次の設定を行ってください。

モデム搭載モデル	「 モデムを設定する 」(…▶ P.33)
LAN 搭載モデル	<p>接続するネットワーク環境にあわせて、ネットワークの設定を行ってください。</p> <p>ネットワークをお使いになるときは、省電力の留意事項(…▶ P.37)をご覧になり、省電力機能が働かないよう設定を変更してください。省電力機能が働いてしまうと、他の装置からアクセスできなくなることがあります。</p> <p>また、ネットワークに接続する場合は、必ず AC アダプタを接続してお使いください。</p>
〔MC〕タッチパネルモデル	「 タッチパネルの調整 (〔MC〕タッチパネルモデル) 」(…▶ P.13)

タッチパネルの調整 (〔MC〕タッチパネルモデル)

ペンで画面をタッチした位置とマウスポインタの位置がずれている場合は、ペンのタッチ位置調整を行ってください。

調整方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「補正ツール」の順にクリックします。
白い補正画面が表示されます。
- 2 添付のペンで画面の赤い「+」マークの近くをタッチし、タッチしたままペンを十字の中心に移動して、ペンをタッチパネルから離します。
このとき \downarrow の位置は調整には無関係です。十字からずれていてかまいません。ペンでタッチして離した位置によって調整が行われます。
【Tab】キーを押して \downarrow を表示しないようにすることもできます。
タッチすると「+」マークが移動します。
- 3 同様に、順にすべての点をタッチします。

POINT

- ▶ ペンの先を「+」マークの交点に合わせて、正確にタッチしてください。
- ▶ 操作中は、手などがタッチパネルに触れないようにしてください。
- ▶ 続けて2回タッチしたときは、【←】【→】【↑】【↓】キーを押して「+」マークを移動し、もう一度タッチしてください。

4 【Enter】キーを押します。

調整結果を確認する画面が表示されます。

POINT

- ▶ 「補正点が不正です。再入力して下さい。」と表示されたら、「OK」をクリックし、手順2からやり直してください。

5 画面の四隅や中央部分をなぞり、正しく調整されているか確認します。

再度調整する場合は、【Fn】キーを押しながら【←】キーを押し、手順2からやり直してください。

6 正しく調整されたら、【Enter】キーを押します。

「補正ツール」が終了します。

これで、タッチパネルが調整されました。

留意事項

- アイコンを右クリックする方法には、次の方法があります。

- 【■】(アプリケーション)キーを押す

- 1 右クリックしたいアイコンの近くにペンを軽く押し付けます。
- 2 アイコンの上までドラッグしてペンを移動します。

- 3 【■】(アプリケーション)キーを押します。

- 【Ctrl】キーを押す

次の2種類の方法があります。

- 1 【Ctrl】キーを押しながらタッチする

- 2 【Ctrl】キーを1度押してからタッチする

設定方法は次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「タッチパネルの設定」の順にクリックします。

「タッチパネルの設定」ウィンドウが表示されます。

- 2 「つかう」をクリックし、「OK」をクリックします。

- タスクバーのアイコンが表示されない場合は、クイックポイントIVで操作してください。

- タッチパネル調整を行ったあと、タスクバーに「タッチパネル補正ツール」のタスクが残ることがあります。タッチパネルの調整は終了していますので、「タッチパネル補正ツール」をクリックして表示を消してください。

ユーザー登録について

本パソコンのユーザー登録は、2001年5月頃から弊社Webサイトで行えるようになります。詳しくは、「FM WORLD.NET」(<http://www.fmworld.net/>)にてご案内する予定です。ご了承ください。

Windows 起動ディスクを作成してください

「Windows 起動ディスク」とは、Windows が正しく起動できなくなった場合に、コンピュータを起動するために使うディスクです。

不測の事態に備えて、「Windows 起動ディスク」を作成してください。

「Windows 起動ディスク」の作成には、2HD のフロッピーディスクが 1 枚必要になります。あらかじめ用意してから、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンで「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」をクリックし、表示されるメッセージに従って作成してください。

ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー

本パソコンに添付されている「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」には、Windows をインストールする際に必要となるファイルが含まれています。Windows のインストール時だけでなく、本パソコンが起動しなくなったときの起動ディスクとしても、使用できます。

「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」は、必ずコピーしてください。

次のものを用意してください。

- ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク
- ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのラベル
- 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）
- フロッピーディスクユニット（別売）（フロッピーディスクドライブおよびスーパーディスクドライブがない場合）

○ 重 要

- ▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。
- ▶ 2HD フロッピーディスクは、1.44MB にフォーマットされている必要があります。
- ▶ 使用できる機器については、「システム構成図」をご覧ください。

コピー方法

「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）を使用してください。

- 1 必要に応じて周辺機器をパソコン本体に取り付けます（…▶『ハードウェアガイド』、周辺機器のマニュアル参照）。
- 2 Windows を起動します。
- 3 添付されている「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットします。

- 4** 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」 ウィンドウが表示されます。
- 5** 「3.5インチ FD (A:)」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。
「ディスクのコピー」 ダイアログボックスが表示されます。
- 6** コピー元とコピー先に「3.5インチ FD (A:)」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。
メッセージに従ってコピーを作成してください。
- 7** コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。
- 8** コピーしたフロッピーディスクに、「ドライバーズCD用CD-ROMセットアップ起動ディスク」と印刷されたラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。
ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

2 プレインストール仕様

Windows セットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。

POINT

- 各ドライバおよびソフトウェアの使用方法については、ヘルプまたは Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

ソフトウェア一覧

プレインストールソフト

名称	備考
Microsoft Windows 95 4.00.950B	操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプか、添付されている『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』をご覧ください。なお、OS 追加プログラムについては「OS 追加プログラム」(▶ P.18) をご覧ください。
Internet Explorer 4.01 SP2	WWW ブラウザです。
Windows 95 ツール	Windows 95 に添付されているツール類が C:\Tools に格納されています。使用方法については、フォルダ内の説明ファイルなどをご覧ください。
DirectX7.0a	マルチメディアの機能を拡張します。DirectX7.0a に対応したソフトウェアの高速表示・高品位音声再生を実現します。
MS-IME95	日本語入力変換ユーティリティです。
省電力管理ユーティリティ	消費電力を設定し、バッテリを効率的に運用・管理します。
Intel SpeedStep (FMV-6700MF9/X)	電源の状態 (AC アダプタまたはバッテリ) によって CPU のクロック周波数を変更し、消費電力を低下させます。
Windows 環境調査ツール (WinDiag)	本パソコンの使用環境を調査します。
Acrobat Reader	PDF (Portable Document Format) 書類を表示、閲覧、印刷できます。
Intellisync	赤外線通信を行うことができます。

名称	備考
3モードフロッピーディスク ドライバ	1.44MB、1.2MB、720KB の DOS/V フォーマット済みのフロッピーディスクを読み書きできる 3 モード対応のフロッピーディスクドライブ用のドライバです。
フロッピーディスクドライブ クリーニングユーティリティ プログラム	クリーニングフロッピー（別売）を使い、フロッピーディスクドライブのヘッド（データを読み書きする部分）を清掃します。使用方法については『ハードウェアガイド』をご覧ください。
FM 一発修正	文字やアイコン表示の異常を修正します。
ソフトウェアライブラリ アップデートプログラム	ソフトウェアが使用している MFC (Microsoft Foundation Class) ライブラリのアップデートプログラムです。ソフトウェアを追加インストールした場合は、アップデートプログラムを実行する必要があります (⇒ P.96)。

プレインストールソフトは、必要に応じてアンインストールしてください (⇒ [P.22](#))。

OS 追加プログラム

ご購入時の状態では、次の Windows 95 用の修正プログラムがインストールされています。

名称	概要
USB サポート	Windows 95 で USB デバイスをサポートするためのプログラムです。
IFS マネージャ修正プログラム	ネットワーク上の全角文字フォルダへアクセスする際の障害修正プログラムです。
プリンタドライバ修正プログラム	HPLaserJet4、Canon BJC を使用する場合に必要なプリンタドライバ修正プログラムです。
DMA 修正プログラム	Ultra DMA/66 をサポートするためのプログラムです。
西暦 2000 年問題修正プログラム	Windows 95、Outlook Express 用の西暦 2000 年問題修正プログラムです。
49.7 日問題修正プログラム	49.7 日間 Windows 95 を実行し続けたときに Windows 95 が停止する障害を修正するプログラムです。
URL Security アップデート プログラム	悪質な WEB サイトや E-mail を利用してシステムを傷つけクラッシュさせたり、不明なプログラムが実行されたりすることを防ぐプログラムです。
PC カード修正プログラム	PC カードを使用する際に必要な修正プログラムです。

添付ソフト（未インストール）

インストール方法は、「[添付ソフトのインストール](#)」（[P.91](#)）をご覧ください。

POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。

名称	備考
Alps Pointing-device Driver 〔MF〕	フラットポイントの機能を拡張します。スクロールボタンを使用するには、Alps Pointing-device Driver のインストールが必要です。
クイックポイント IV ドライバ （〔MC〕ベースモデル）	クイックポイント IV の機能を拡張します。
セキュリティボタン	セキュリティボタンのパスワードを簡単に設定したり、ユーザーパスワードを設定／変更／削除したりできます。
ワンタッチボタン設定	セキュリティボタンをワンタッチボタンとして使えるようになります。ワンタッチボタンを押してアプリケーションを起動したり、メールをチェックしたりできます。
Internet Explorer 3.02	WWW ブラウザです。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（ P.26 ）。
MS-IME97A	日本語入力変換ユーティリティです。 MS-IME97A をインストールすると、MS-IME95 は削除され使用できなくなります。 お使いの際は、充分な検証を行ってください。環境によっては、起動時に不具合が起こることがあります。
はじめよう！インターネット (@nifty)	インターネットのプロバイダである@niftyに入会できます。
赤外線ドライバ（SMC IrCC）	赤外線通信用のドライバです。

デバイス一覧

POINT

- 本パソコンの仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。その際、デバイス名称などが本書の記述と異なる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

デバイス	名称	備考
CD-ROM※1	〔MF〕 TEAC CD-224E	
PCMCIA ソケット	O2 Micro OZ6933 CardBus Controller	
ユニバーサル シリアルバス コントローラ	Intel(r) 82440MX USB Universal Host Controller USB Root Hub	
キーボード	106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl + 英数)	
サウンド、ビデオ、 およびゲームの コントローラ	〔MF〕 YAMAHA AC-XG Audio 〔MC〕 QSound_SigmaTel Stac97 PCI Audio	
ディスクドライブ	GENERIC IDE DISK TYPE40 GENERIC NEC FLOPPY DISK	
ディスプレイ アダプタ	RAGE MOBILITY PCI (Japanese)	
ネットワーク アダプタ※2	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	
ハードディスク コントローラ	Intel(r) 82440MX Bus Master IDE Controller	
フロッピーディスク コントローラ	Fujitsu 3-mode Floppy (FMV Series) スタンダードフロッピーディスクコントローラ	1.44MB/1.2MB/720KB の各容量のフロッピーディスクを読み書きできます。なお、スーパーディスクドライブ装着時は、1.44MB/720KBのフロッピーディスクのみ読み書きできます。
ポート (COM&LPT)	プリンタポート (LPT1) ラップトップまたはデスクトップのビルトイン赤外線ポート (COM4) 通信ポート (COM1)	
マウス	〔MF〕〔MC〕ベースモデル スタンダード PS/2 ポートマウス 〔MC〕タッチパネルモデル Fujitsu Touch Panel (PS/2)	
モデム	Lucent Technologies Soft Modem AMR	V.90 対応
モニター	ラップトップディスプレイパネル 〔MF〕(1024 × 768) 〔MC〕(800 × 600)	色数: High Color (16 ビット)

※1: 内蔵 CD-ROM ドライブユニットをマルチベイに取り付けた場合

※2: LAN 搭載モデル

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
割り当てなし	261MB ※	Save To Disk 領域
C	約 2GB	FAT16
D	〔総容量〕 - 〔C ドライブの容量 + Save To Disk 領域※〕	FAT32
E	CD-ROM ドライブ	CD-ROM 接続時

※：「Save To Disk 領域」（[…▶ P.108](#)）

POINT

- ▶ WindowsNTなどのFAT32をサポートしていないOSからは、FAT32に設定されたディスク領域を認識できません。WindowsNTなどのOSでこのディスク領域を使用する場合には、ディスクのバックアップを行ったあと、FAT32からFAT16へ設定を変更してください（[…▶ P.55](#)）。
- ▶ また、Windows 95では、NTFSに設定されているディスク領域を認識することができません。この場合、FDISKコマンドでFAT16またはFAT32に設定を変更してください。
- ▶ フォーマットの形式を変更した場合、変更したドライブの中身はすべて消えてしまいます。必要に応じてバックアップを行ってから、実行してください。

Save To Disk 領域

Save To Disk 領域の必要容量には、メインメモリ容量とビデオメモリ容量以外に若干の作業領域が必要です。そのため、Save To Disk 領域は、メインメモリ容量とビデオメモリ容量の合計よりも多くなっています。

詳細については、「Save To Disk 領域」（[…▶ P.108](#)）をご覧ください。

Save To Disk 領域の容量	最大メインメモリ容量	ビデオメモリ容量・その他	形式
約 261MB	交換時 256MB	5MB 程度	区画形式

本パソコンでは、メモリを最大に拡張した場合を想定し、最初の設定では上記の容量の Save To Disk 領域が区画形式で作成されています。

アプリケーションのアンインストール

留意事項

アプリケーションをアンインストールする場合は、次の点に注意してください。

- アプリケーションをすべて終了してからアンインストールを始める
- DLL ファイルは削除しない

アンインストール時に次のようなメッセージが表示されることがあります。

「この DLL は複数のアプリケーションで使用されている可能性があります。削除を行いますか」

この DLL ファイルを削除すると、他のアプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルで、特に指示がない場合は DLL ファイルは削除しないことをお勧めします。

アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する
アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- 「アプリケーションの追加と削除」機能を使用する
「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」機能を使用してアプリケーションを削除できます。
- ファイルを削除する
アンインストール機能が用意されていない次の表のアプリケーションについては、ファイルまたはフォルダを削除してください。

名称	削除するファイル名・フォルダ名
Windows 95 ツール	C:\Tools

Windows 95 ツールは、添付の Windows 95 オペレーティングシステム CD の admin フォルダと other フォルダに同じ内容が納められています。

アンインストール方法はアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

なお、Internet Explorer 4.01 SP2 については、次の手順に従ってアンインストールしてください。

Internet Explorer 4.01 SP2 のアンインストール

■ 留意事項

Internet Explorer 4.01 SP2 をアンインストールする場合は、次の点に注意してください。

- アクティブデスクトップを有効にしている場合は、アンインストール前に解除してください（「スタート」ボタン→「設定」→「アクティブデスクトップ」→「Web ページで表示」の順にクリックして、チェックを外してください）。
- Internet Explorer 4.01 SP2 をアンインストールすると、「西暦 2000 年問題修正プログラム」（[P.18](#)）は無効になります。

- ダイヤルアップネットワークの設定を行っている場合は、次の手順に従って削除してください。
 - 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
 - 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
 - 3 「Windows ファイル」タブの「ファイルの種類」から「通信」をクリックし、「詳細」をクリックします。
 - 4 「ダイヤルアップネットワーク」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

POINT

▶ 「セットアップ」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。

- 5 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
メッセージに従って操作します。
「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- 6 本パソコンを再起動します。

■ Internet Explorer 4.01 SP2 のアンインストール方法

Internet Explorer 4.01 SP2 のアンインストール方法は、次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。
- 4 「前回の Windows の設定を復元する」をクリックし、「OK」をクリックします。
「Internet Explorer 4.0 と共有コンポーネントを削除するには、「OK」をクリックしてください。」と表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。
メッセージに従って操作します。

Memo

第2章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法など
について説明しています。

1 コンピュータウイルス対策	26
2 MS-DOS モードで CD-ROM を利用する	28
3 画面を設定する	29
4 モデムを設定する	33
5 赤外線通信	34
6 省電力	37
7 液晶ディスプレイの明るさを設定する	43
8 音量を設定する	44

1 コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの1つで、何らかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖したり、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりと、悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan を添付しています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

VirusScan は、ご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

留意事項

- 「McAfee VShield」を起動していると、アプリケーションのインストールが正常に行われなかつたり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「McAfee VShield」を終了してください。
 - ・「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「タスク」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
 - ・タスクバーの「McAfee VShield」アイコンを右クリックし、「終了」をクリックします。
- VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、他のアプリケーションを実行したり、検査中のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出したりしないでください。他のアプリケーションを実行するなど、別の操作を行うと、エラーメッセージが表示される場合があります。
- 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてからお使いください。
- VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル (DAT ファイル) と、検査プログラム (スキャエンジン) を使用しています。DAT ファイルは次のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。

<http://www.nai.com/japan/>

スキャエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重要

- ▶ コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、「コンピュータウイルス対策基準」（平成 12 年 12 月 28 日付通商産業省告示第 951 号）の規定に基づいています。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）セキュリティセンターに届け出ることとされています（<http://www.ipa.go.jp/security/>）。

2 MS-DOS モードで CD-ROM を利用する

MS-DOS モードで CD-ROM ドライブを使用するための設定を説明します(ポータブル CD-ROM ドライブは該当しません)。

MS-DOS モードで CD-ROM をご使用になる場合

ご購入時はドライバがインストールされていないため、MS-DOS モードで CD-ROM を使用できません。次の手順でドライバをインストールしてください。

POINT

- ▶ 設定を行う際には、次の作業以外は行わないでください。他の作業を行うと、Windows が正常に起動しなくなることがあります。

- 1 エディタ(メモ帳)などで C:\Config.sys を開き、次の行の「REM」を削除します。

~~REM DEVICE=C:\\$REALMODE\\$XXXXX.SYS /D:OEMCD001~~

↓

DEVICE=C:\\$REALMODE\\$XXXXX.SYS /D:OEMCD001

- 2 次の行がない場合は、最後の行に追加して保存します。

lastdrive=z

- 3 エディタ(メモ帳)などで C:\Windows\Dosstart.bat を開き、次の行の「REM」を削除して保存します。

~~REM MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /L:E~~

↓

MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /L:E

(「/L:E」の「E」には CD-ROM ドライブ名がります。)

- 4 本パソコンを再起動します。

POINT

- ▶ 別売のCD-ROM/DVD/CD-R/CD-RW ドライブなどを使いの場合は、Config.sys の該当部分(ドライバ名やオプション)を使いのドライバに合わせて変更してください。
- ▶ [MF] モバイルマルチベイの CD-ROM ドライブは、プライマリー・スレーブ接続しています。

3 画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数を変更する方法と各機能について説明します。

解像度と色数

本パソコンでは、Windows の「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ディスプレイの詳細」タブで次の解像度、色数を選択／変更できます。

なお、High Color は 65536 色、True Color は 16777216 色です。

また、CRT ディスプレイなどの外部ディスプレイの接続方法は『ハードウェアガイド』をご覧ください。

解像度 (ドット)	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ + 外部ディスプレイ	外部ディスプレイ ^{※4}
640 × 480	256 色	High Color (16 ビット)	
800 × 600		True Color (24 ビット) ^{※3}	
		True Color (32 ビット) ^{※3}	
1024 × 768	256 色 ^{※1} High Color (16 ビット) ^{※1} True Color (24 ビット) ^{※1※3} True Color (32 ビット) ^{※1※3}	High Color (16 ビット) True Color (24 ビット) True Color (32 ビット)	
1280 × 1024	256 色 ^{※2} High Color (16 ビット) ^{※2} True Color (24 ビット) ^{※2※3}	High Color (16 ビット) True Color (24 ビット)	

※1：[MC] では、仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニター」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※2：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニター」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※3：True Color 表示ではディザリング機能を使用して液晶ディスプレイに表示しています。

※4：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

留意事項

- マウスポインタが矢印の表示に戻らないことがあります。このような場合は、マウスポインタをいったんタスクバーへ移動してください。
- CD-ROM 読み取りエラーなどの表示画面が正常に表示されない場合がありますが、Windows 画面に復帰後は正常に表示されます。
- DirectX を使用したアプリケーションの一部で、表示が乱れる場合があります。
- 「背景」タブの「模様」の設定を「カギ穴」にすると模様が正しく表示されない場合があります。
- 外部ディスプレイとして CRT ディスプレイを接続した場合は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスでリフレッシュレートが 85Hz 以上に設定できるように見えますが、実際の CRT ディスプレイの周波数は次のとおりです。
 - CRT ディスプレイのみの場合 : 60Hz ~ 85Hz
 - 同時表示の場合 : 60Hz
- Active Desktop を ON に設定し、色数を High Color (16 ビット) に設定した場合、ウィンドウの模様（デイジーなど）が正常に表示されないことがあります。この場合は、色数を High Color (16 ビット) 以外に設定するか、Active Desktop を OFF に設定してください。
- 次の解像度を選択した場合は、Windows の画面を通常表示または全画面表示に変更できます（[P.32](#)）。【Fn】 + 【F5】キーで変更することもできます。
 - [MF] : 800 × 600 ドット以下
 - [MC] : 640 × 480 ドット

表示装置を切り換える

表示装置の切り換え方法は次のとおりです。なお、表示装置をあらかじめ取り付けてから（[ハードウェアガイド](#) 参照）、切り換えを行ってください。

留意事項

- 表示装置の切り換えの設定は次のようになります。
 - Windows が起動していない場合は、BIOS セットアップの設定が有効です。
 - Windows 起動中は「画面のプロパティ」ダイアログボックスの設定が有効（Windows を再起動後も有効）です。
 - 【Fn】 + 【F10】キーで切り換えた表示装置の設定は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの設定に反映されます。
 - 「画面のプロパティ」ダイアログボックスを表示中に 【Fn】 + 【F10】キーで表示装置を切り換えると、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの表示には反映されません（一度ダイアログボックスを閉じ、再度表示させると反映されています）。
 - Windows が起動すると、表示されるディスプレイは、前回 Windows で使用していた状態になります。ただし、外部ディスプレイが接続されていない場合は、液晶ディスプレイに表示されます。
 - 解像度の切り換え時などに、一時的に表示画面が乱れることがあります、故障ではありません。

- 液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示を選択した場合、外部ディスプレイ画面は液晶ディスプレイ画面と同一の解像度になります。
- 液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示を選択した場合、液晶ディスプレイの表示が乱れことがあります。このときは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで、色数を変更してください。
- 外部ディスプレイまたは液晶プロジェクタによっては、液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示時に、画面が正しく表示されないことがあります。
- 外部ディスプレイで液晶ディスプレイ以上の高解像度を利用するには、それらの解像度を表示可能な外部ディスプレイが必要です。
- 液晶プロジェクタを本パソコンの液晶ディスプレイと同時表示で使用する場合、本パソコンの液晶ディスプレイと同じ解像度を表示可能な液晶プロジェクタが必要です。

【Fn】+【F10】キーを使用する場合

表示装置を切り換えるには、【Fn】キーを押しながら【F10】キーを押します。表示装置は次の順に切り換わります（このとき【F10】キーを、間隔を空けて押してください）。

液晶ディスプレイ → 外部ディスプレイ → 液晶ディスプレイ+外部ディスプレイ（同時表示）→ 液晶ディスプレイ…

「画面のプロパティ」ダイアログボックスを使用する場合

- 1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 2 「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ATI 画面」タブで表示装置をクリックします。
- 3 「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ 表示装置の切り換えを行う場合は、次の手順に従って操作してください。
 - ・ 液晶ディスプレイと外部ディスプレイで同時に表示する
 - 1 緑色の「①」をクリックして、「モニタ」と「パネル」の「①」を押された状態にします。
 - 2 「モニタ」と「パネル」をプライマリ「②」に設定します。
 - ・ 液晶ディスプレイのみ、または外部ディスプレイのみで表示する
 - 1 緑色の「①」をクリックして、「モニタ」と「パネル」の「①」を押された状態にしてから、表示しないディスプレイの「①」をクリックします。
 - 2 表示するディスプレイがセカンダリになっている場合は「②」をクリックし、チェックを外します。

全画面表示に切り換える

画面を通常表示または全画面表示にできます。液晶ディスプレイよりも小さな解像度に設定したときに、画面がディスプレイ中央に小さく表示または全画面表示されるようにするには、次の手順で設定を変更してください。

1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「ATI 画面」タブをクリックします。

3 「パネル」をクリックします。

「ATI パネルのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「イメージをパネルサイズにする」の左側のをクリックし、にします。

にすると、液晶ディスプレイよりも小さな解像度に設定した場合は、画面が液晶ディスプレイ中央に小さく表示されます。

にすると、液晶ディスプレイよりも小さな解像度に設定した場合は、画面が液晶ディスプレイ全体に大きく表示されます。

5 「OK」をクリックし、すべてのダイアログボックスを閉じます。

4 モデムを設定する

設定方法

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」 ウィンドウが表示されます。
- 2** 「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」 ダイアログボックスが表示されます。
- 3** 次の項目をクリックし、「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
 - Lucent Technologies Soft Modem AMR
「所在地情報」 ダイアログボックスが表示されます。
- 4** 各項目を設定し、「OK」をクリックします。
 - 国番号 : 日本 (81)
 - 市外局番 : 使用する場所の市外局番
 - 外線発信番号 : 0 などの外線につなぐための番号 (必要な場合のみ)
 - ダイヤル方法 : トーン (プッシュ回線の場合) またはパルス (ダイヤル回線の場合)
「モデムのプロパティ」 ダイアログボックスが表示されます。
- 5** 手順 3 で選択した項目をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 6** 次のように設定し、「OK」をクリックします。
 - 音量 : オンまたは高
 - 最高速度 : 115200
 - 「接続」 タブの「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外す
- 7** すべてのダイアログボックスを閉じます。

留意事項

- 内蔵モデム経由でナンバーディスプレイ対応の電話番号に接続したとき、「184」「186」を付けてダイヤルすると正常に接続できない場合があります。「184」「186」と接続先の電話番号の間に「,(カンマ)」を入れてダイヤルしてください。

5 赤外線通信

ここでは、赤外線通信についてと、赤外線通信用のアプリケーション「Intellisync」（インテリシンク）について説明しています。赤外線通信を行う前にお読みください。

赤外線通信の概要

赤外線通信とは、本パソコンの赤外線通信ポートを使用して、赤外線通信機能を持った他のパソコンと、ケーブルを接続することなく通信できる機能です。

赤外線通信を行う場合は、互いのパソコンの赤外線通信ポートを使用可能に設定し、赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにします。距離は 20 ~ 50cm の範囲内での使用をお勧めします。

留意事項

- 赤外線通信をしているときは、赤外線通信ポートに AC アダプタや外部ディスプレイを近づけないでください。誤動作の原因になります。
- 互いのパソコンの距離を離しすぎないでください。
- データ転送中は、互いのパソコンを動かさないでください。データ転送が切断される場合があります。
- 次の場合、正常に通信できないことがあります。
 - 互いの赤外線通信ポートが、真正面に向き合っていない場合
 - 互いの赤外線通信ポートの距離が離れすぎていたり、間に遮断物がある場合
 - テレビ、ラジオなどのリモコン、ワイヤレス・ヘッドホンなどが近くで動作している場合
 - 直射日光や、蛍光灯・白熱灯などの強い光が赤外線通信ポートに当たっている場合
 - 赤外線通信ポートが汚れている場合

Intellisync

本パソコンには、赤外線通信用のアプリケーションとして、「Intellisync」（インテリシンク）がインストールされています。「Intellisync」を使うことにより、2台のパソコンを赤外線通信アダプタやケーブルで接続し、ファイルの転送などを簡単に行うことができます（[『Intellisync For Notebooks クイック・リファレンス・ガイド \(QRG.pdf\)』](#)参照）。

留意事項

Intellisync には次の制限事項があります。ご使用になる前によくお読みください。

- Windows を終了する前に、必ず Intellisync を終了してください。
- データの通信中に赤外線通信ポートをふさぐなどして通信エラーが発生した場合は、Intellisync をいったん終了し Windows を終了させ、MAIN スイッチを OFF にしてから、再度 Intellisync を起動してください。そのまま使用すると、正常に通信できないことがあります。
- Intellisync のシンクロナイズ機能では、ファイル名に全角文字が含まれたファイルを指定すると、正しく動作しない場合があります。
- Intellisync では、ZAURUS との通信はサポートしておりません。
- 「ファイル転送」機能のツールバーにある「一覧」のバルーンヘルプは表示できません。
- 赤外線通信中は、「接続設定マネージャ」ダイアログボックスの「ローカルデバイス」タブの「赤外線のデバイス」のプロパティを開いて「IR ウィザード」を行わないでください。
- ドライブとして割り当てられたネットワークコンピュータ名やボリュームラベルに全角の文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。
- 「ファイル転送」で接続先が表示されない場合は、次のように設定を変更してください。
 - 1 「ファイル転送」の「オプション」から「設定」をクリックします。
 - 2 「セキュリティ」タブをクリックします。
 - 3 「リソースアクセス」の「ドライブの詳細」をクリックします。
 これで設定は終了です。

転送速度について

「Intellisync」を使用すると、最大 4Mbps の速度で通信できます。

転送速度は、通信相手のパソコンにより異なります。

- 115Kbps のパソコンと通信する場合
自動的に 115Kbps モードで接続されます。
- 4Mbps のパソコンと通信する場合
自動的に 4Mbps モードで接続されます。

本パソコンで Intellisync を使用する前に

Intellisync を使用する前に、次の項目の設定を確認してください。

■ Windows の標準の赤外線デバイスを使用不可の状態にする

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」 ウィンドウが表示されます。
- 2 「赤外線モニター」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「オプション」タブの「次のポートで赤外線通信を使用可能にする」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

■ BIOS セットアップの設定を確認する

本パソコンご購入時は、BIOS セットアップは次のように設定されています。

赤外線通信を正しく行えない場合は、BIOS セットアップの「詳細」メニューの「周辺機器設定」または「シリアル／パラレルポート設定」で、「シリアルポート B」または「赤外線通信ポート」の各項目が次の設定になっているか確認してください。

- シリアルポート B または赤外線通信ポート：使用する
- モード：FIR
- I/O ベースアドレスまたは I/O アドレス：2E8
- 割り込み番号：IRQ3
- I/O ベースアドレスまたは I/O アドレス：118
- DMA チャネル：DMA3

■ コンピュータ名を変更する

Intellisync では、同じコンピュータ名どうしで通信を行うことができません。

次の手順で通信相手のコンピュータ名を確認し、必要であればコンピュータ名を変更してください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intellisync」→「接続設定マネージャ」の順にクリックします。

POINT

- ▶ 「使用許諾同意書」が表示されたら「承諾する」をクリックしてください。

- 2 「閉じる」をクリックします。
「接続設定マネージャ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「識別」タブの「コンピュータ名」を確認し、必要であれば変更します。
- 4 「OK」をクリックします。

6 省電力

本パソコンの省電力について説明しています。

サスPEND／レジューム機能

サスPEND／レジューム機能とは

サスPEND／レジューム機能とは、SUS/RES スイッチ (⇒『ハードウェアガイド』参照) などで本パソコンを一時停止（サスPEND）したときに、メモリ内のプログラムやデータをそのままの状態で保持し、次に SUS/RES スイッチを押したときに、すぐに作業を再開（レジューム）できる機能です。

POINT

- ▶ サスPEND時のパソコン内部の情報の保存先は、BIOS セットアップの「サスPEND動作」の設定 (⇒『ハードウェアガイド』参照) により、次の 2 とあります。
 - メモリ（システム RAM）
「サスPEND動作」を「サスPEND」に設定したときは、システム RAM で保持されます。電源は、AC アダプタを接続している場合は AC 電源から、AC アダプタを接続していない場合はバッテリから供給されます。
 - ハードディスク（Save To Disk 領域）
「サスPEND動作」を「Save To Disk」に設定したときは、ハードディスクの Save To Disk 領域に書き込まれて保存されます。また、この場合はパソコン本体の電源が自動的に切れます (⇒ P.108)。
- ▶ ご購入時は「サスPEND」に設定されています。

留意事項

- ネットワークをお使いになるときは、次の設定を行い、省電力機能が働かないようにしてください。省電力機能が働いてしまうと、他の装置からアクセスできなくなることがあります。
- BIOS セットアップ (⇒『ハードウェアガイド』参照) の「省電力」メニューの設定を、次のいずれかに変更します。
 - 「省電力モード」：「ユーザー設定」
 - 「ハードディスク省電力」：「使用しない」
 - 「スタンバイタイマー」：「使用しない」
 - 「サスPENDタイマー」：「使用しない」
 - 「省電力モード」：「使用しない」
- 省電力管理ユーティリティ (⇒ P.41) の AC Mode の PM 設定を、次のいずれかに変更します。
 - 「Power Saving」：「Customize」
 - 「Hard Disk」「Idle」「Standby」「Auto Suspend」のチェックを外す
 - 「Power Saving」：「Off」

- パソコンをお使いの状況によっては、サスPENDや Save to Disk 状態、レジュームに時間がかかる場合があります。
- サスPENDまたは Save to Disk 状態にしたあと、すぐにレジュームしないでください。必ず、10秒以上たってからレジュームするようにしてください。
- 接続している周辺機器のドライバが正しくインストールされていない場合、サスPENDや Save to Disk 状態にならないことがあります。
- レジューム時に、画面に一瞬ノイズが発生する場合があります。
- 次の場合は、サスPENDや Save to Disk 状態にしないでください。
 - OS の起動処理中または終了処理中
 - パソコンが何か処理をしている最中（プリンタ出力中など）、および処理完了直後
 - ハードディスク、フロッピーディスクまたはスーパーディスクにアクセス中
 - モデムで通信中
 - オートラン CD-ROM（セットすると自動で始まる CD-ROM）を使用中
 - ビデオ CD、DVD-VIDEO などを再生中
 - 音楽 CD やゲームソフトなどのサウンドを再生中
 - CD-R や CD-RW に書き込みまたは書き換え中
 - ドライバのインストールが必要な周辺機器を接続しているが、ドライバのインストールが終了していないとき
 - 赤外線通信を使用中
- 周辺機器を取り付け／取り外しする場合は、サスPENDせず、パソコン本体の電源を切ってください。また、周辺機器によっては、パソコン本体の電源を切らなくても接続できるものもあります。
『ハードウェアガイド』、または周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ネットワーク使用時は、省電力機能を使用できません。
- バッテリ運用の場合は、バッテリ残量に留意してください。サスPEND中にバッテリが切れると、作業中のデータがすべて失われてしまいます。
- 長時間お使いにならない場合は、サスPEND機能を使用せず、パソコン本体の電源を切ってください。
- バッテリを使っているときのサスPEND可能な時間は、新品のバッテリを満充電した状態で、約3日です。
- サスPEND時にはシステム RAM でのデータ保持のために電力を消費します。バッテリで使っている場合は、バッテリ残量に留意してください。サスPEND中にバッテリが切れると、作業中のデータがすべて失われてしまいます。長時間お使いにならない場合は、データを保存してから Windows を終了させ、パソコン本体の電源を切ってください。
- PC カードやプリンタなどの周辺装置を接続した状態で Save To Disk 機能を使用すると、レジューム時に周辺装置の情報が初期化されるため、Save To Disk 前の状態に戻らないことがあります。
- 次の場合は、サスPEND時のデータ保存時間が短くなるため、AC アダプタで本パソコンを運用することをお勧めします。
 - 「パワーマネージメント」の、「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」の設定が有効の場合（「電源のプロパティ」ダイアログボックス「パワーマネージメント」タブの「詳細」をクリックして表示される「詳細」タブの「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」）

- BIOS セットアップの「省電力」メニューで、「モデム着信によるレジューム」の設定（…▶『ハードウェアガイド』参照）が「使用する」の場合
- お使いになる PC カードによっては、サスペンド時のデータ保存時間が短くなる場合があります。
- CD-ROM 読み込み中にサスペンドや Save to Disk に移行すると、レジューム時にエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、【Enter】キーを押してください。
- BIOS セットアップで「内蔵するポインティングデバイス」を「手動」に設定している場合、レジューム時には、内蔵ポインティングデバイスが有効になります。

サスペンド（作業を一時停止する）

本パソコンをサスペンドさせるには、SUS/RES スイッチやカバークローズスイッチを使用する方法と、「スタート」メニューを使用する方法があります。

■ 留意事項

- サスペンド中はMAINスイッチをOFFにしないでください。作業中のデータがすべて失われてしまいます。
- オートラン CD-ROM を使用しているときにサスペンドすると、レジューム時に CD-ROM が二重に起動し、誤動作の原因になります。二重に起動した場合は、CD-ROM のアプリケーションをすべて終了し、CD-ROM をセットし直してください。

■ SUS/RES スイッチを使用する

1 SUS/RES スイッチを押します。

状態表示 LCD（…▶『ハードウェアガイド』参照）の□や□などが表示されていないことを確認し、SUS/RES スイッチを押します。しばらくすると、状態表示 LCD の①が点滅し、液晶ディスプレイの表示が消えます。

△ 重 要

- ▶ SUS/RES スイッチは4秒以上押さないでください。SUS/RES スイッチを4秒以上押すと、本パソコンの電源が切れ、作成中のデータが失われることがあります。

○ POINT

- ▶ BIOS セットアップの「サスペンド/レジュームスイッチ」の設定（…▶『ハードウェアガイド』参照）が「使用しない」の場合は、SUS/RES スイッチを押しても本パソコンはサスペンドしません。
- ▶ 【Fn】キーを押しながら SUS/RES スイッチを押すと、BIOS セットアップの「サスペンション動作」の設定（…▶『ハードウェアガイド』参照）にかかわらず、Save To Disk 機能が働きます。ただし、この場合は、「モデム着信によるレジューム」の設定（…▶『ハードウェアガイド』参照）が無効となります。
- ▶ Save To Disk 機能でサスペンドしても Save To Disk 機能が働かないときは、Save To Disk 領域が削除されている可能性があります。Save To Disk 領域を作成し直してください。

■ 液晶ディスプレイを閉じる

1 状態表示 LCD (⇒『ハードウェアガイド』参照) の□や□などが表示されていないことを確認し、液晶ディスプレイを閉じます。

重要

- ▶ BIOS セットアップの「カバークローズサスPEND」の設定 (⇒『ハードウェアガイド』参照) を「使用しない」に設定すると、液晶ディスプレイを閉じたときにサスペンドしないように設定できますが、「使用しない」に設定した場合でも、液晶ディスプレイを閉じたままにしないでください。放熱が妨げられ、故障の原因となります。また、この場合は液晶ディスプレイを閉じないでください。ご購入時は「サスPEND」に設定されています。
- ▶ サスPEND状態になったことを示すピピッという音を確認してください（ボリュームを小さくしていると聞こえません）。また、ハードディスクの音が止まることを確認してください。サスPENDしないまま液晶ディスプレイを閉じると、放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- ▶ 液晶ディスプレイを閉じてもサスPENDしない場合、液晶ディスプレイを開いて SUS/RES スイッチを押し、サスPENDしたことを確認してから液晶ディスプレイを閉じてください。

■ 「スタート」メニューを使用する

1 「スタート」ボタン→「サスPEND」の順にクリックします。

本パソコンがサスPENDします。

レジューム（作業を再開する）

本パソコンをレジュームさせるには、SUS/RES スイッチやカバークローズスイッチを使用する方法があります。

■ 留意事項

- レジュームしないときは、MAIN スイッチが OFF になっていないか確認してください。

■ SUS/RES スイッチを使用する

1 SUS/RES スイッチを押します。

SUS/RES スイッチを押すと、状態表示 LCD の①が点滅から常時表示になり、本パソコンは動作状態になります。

重要

- ▶ SUS/RES スイッチは4秒以上押し続けないでください。4秒以上押すと、本パソコンの電源が切れます。

■ カバークローズスイッチを使用する

1 液晶ディスプレイを開きます。

カバークローズスイッチ (⇒『ハードウェアガイド』参照) により、本パソコンがレジュームします。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの「カバーオープンレジューム」の設定 (⇒『ハードウェアガイド』参照) が「使用しない」の場合は、液晶ディスプレイを開いても本パソコンはレジュームしません。

省電力管理ユーティリティ

省電力管理ユーティリティでは、電力消費を抑える「省電力モード」を、各電源供給状態（バッテリ／AC アダプタ／LOW バッテリ状態）によって設定することができます。

メイン画面を起動するには、タスクバーの右端に表示されている、「省電力管理ユーティリティ」アイコン（ または ）をダブルクリックします。

バッテリインジケータとサスペンドや詳細を設定するボタンが表示されます。



POINT

- ▶ 各ボタンの詳細は  をクリックしてヘルプをご覧ください。
- ▶ 「Windows でコンピュータの電源管理が行われていません。このプログラムは使用できません。」とメッセージが表示されたら、次の設定を行ってください。
 - 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
 - 2 「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
「電源のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
 - 3 「Windows でコンピュータの電源管理をする」をチェックします。
 - 4 「OK」をクリックします。
- ▶ ご購入時の設定では、省電力管理ユーティリティはスタートアップに登録されています。
- ▶ タスクバーに「省電力管理ユーティリティ」アイコン（ または ）が表示されていない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「省電力管理ユーティリティ」→「省電力管理ユーティリティ」の順にクリックしてください。

■ 留意事項

- PM設定とBIOSセットアップの「省電力」メニューの設定変更は、連動しています (⇒『ハードウェアガイド』参照)。
- なお、「コントロールパネル」ウィンドウの「パワーマネージメント」の設定（「電源のプロパティ」ダイアログボックス→「パワーマネージメント」タブの「詳細」をクリックして表示される「詳細」タブの「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」）は、省電力管理ユーティリティと BIOS セットアップの設定よりも優先されます。

Intel® SpeedStep™ テクノロジ (FMV-6700MF9/X)

本パソコンをバッテリで使っているときには、CPUクロックの周波数を落とすと共にCPU動作電圧を落とすことで節電するかどうかを設定します。本パソコンをACアダプタで使っているときと、バッテリで使っているときで別々に設定できます。消費電力が低くなるので、バッテリ稼動時間が長くなります。

「バッテリーに合わせたパフォーマンス（推奨）」から「最大パフォーマンス」に変更する場合は再起動を行ってください。

■ 留意事項

- 次の方法で設定画面を表示させることができます。
 - ・「コントロールパネル」ウィンドウの「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックし、「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」タブをクリックする。
 - ・タスクバーのをダブルクリックする。
- 「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」ダイアログボックスと「パワーマネージメント」ダイアログボックスは、同時に表示しないでください。
- BIOS セットアップの「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」(⇒『ハードウェアガイド』参照) の項目でも設定を変更できます。Intel SpeedStep の設定を変更すると、BIOS セットアップの設定も変更されます。

7 液晶ディスプレイの明るさを設定する

液晶ディスプレイの明るさは、8段階に調節できます。

明るさを変更する

キーボードを使用して、液晶ディスプレイの明るさを8段階に調節することができます。

【Fn】キーを押しながら【F6】キーを押すと暗く、【Fn】キーを押しながら【F7】キーを押すと明るくなります。

8 音量を設定する

音量を調節するには、ハードウェア（キーボード）で調節する方法と、画面に「音量つまみ」を表示させて調節する方法の2種類があります。

また、音声入出力時のバランスや音量の設定は、音量を設定するダイアログボックスで行います。

キーボードで調節する

キーボードで音量を調節するには、【Fn】キーを押しながら、【F8】キーまたは【F9】キーを押します。

【Fn】キーを押しながら【F8】キーを押すと音量が小さく、【F9】キーを押すと音量が大きくなります。

キーボードでの音量の調節は、17段階に設定できます。

POINT

- ▶ 【Fn】+【F9】キーで音量を大きくしても音が聞こえない場合は、スピーカーの状態を確認してください。【Fn】キーを押しながら【F3】キーを押すと、スピーカーのONとOFFが切り替わります。「ピー」と音がした場合はスピーカーがON、音がしない場合はOFFになります。
- また、音量を設定するダイアログボックスの設定がミュート（消音）になっていないか確認してください。
- ▶ キーボードでの調節は、音量つまみで設定した音量を最大音量とし、その範囲で音を大きくしたり小さくしたりできます。

画面上の音量つまみで設定する

キーボードで調節しても、音が大きすぎたり小さすぎる場合は、画面上に音量つまみを表示して調節します。

1 タスクバーの「音量」アイコンをクリックします。

音量を調節する画面が表示されます。

2 音量つまみを上下にドラッグして、適当な音量に調節します。

ミュートをチェックすると、音が消え、タスクバーの表示も変わります。

3 デスクトップの何もないところをクリックします。

音量を調節する画面が消えます。

消えなかった場合は、いったん音量つまみをクリックしてから、デスクトップの何もないところをクリックしてください。

POINT

- ▶ 音量つまみで設定した音量が、キーボードで調節した場合の最大音量となります。

再生時／録音時の音量設定について

再生時の音量設定

1 タスクバーの「音量」アイコンをダブルクリックします。

音量を設定するダイアログボックスが表示されます。

2 バランスや音量などを調節します。

録音時の音量設定

1 タスクバーの「音量」アイコンをダブルクリックします。

音量を設定するダイアログボックスが表示されます。

2 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「録音」をクリックし、「OK」をクリックします。

4 バランスや音量などを調節します。

ご購入時の音量設定は、次のようになっています。

なお、※がついている項目は、ご購入時は表示されていません。また、ミュートが「○」の項目は、ご購入時には音が聞こえないように設定されています。

POINT

- ▶ 表示されていない項目(※がついている項目)を表示させる場合は、次のように設定します。
 - 1 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
 - 2 「表示するコントロール」で、項目をクリックしてチェックします。
項目が表示されるようになります。
- ▶ 解像度によっては、音量を設定するダイアログボックスの一部を表示できないことがあります。

〔MF〕の場合

■ 再生時の音量設定

項目	ミュート	設定する音量
ボリュームコントロール	×	パソコン全体の音量
ZV ポート※	○	未使用
テレフォン※	×	モデムの音量
マイクロフォン※	○	マイクイン・ジャックに接続したマイクと内蔵マイクの音量
ライン	×	ラインイン・ジャックに接続した機器の音量
CD オーディオ	×	音楽 CD の音量
ビデオ※	○	未使用
AUX ※	○	未使用
Wave アウト	×	Wave ファイルの音量
Midi アウト	×	本パソコン内蔵のソフトウェア MIDI の音量
3D ワイド	○	3D 効果の調整
モノアウト※	×	未使用

■ 録音時の音量設定

項目	選択	設定する音量
テレフォン※	×	モデムの録音音量
マイクロフォン	○	マイクイン・ジャックに接続したマイクと内蔵マイクの録音音量
ライン	×	ラインイン・ジャックに接続した機器の録音音量
CD オーディオ	×	音楽 CD の録音音量
ビデオ※	×	未使用
AUX ※	×	未使用
ステレオ アウト※	×	再生音全体の録音音量
モノアウト+マイク※	×	未使用

【MC】の場合

■ 再生時の音量設定

項目	ミュート	設定する音量
Volume Control	×	パソコン全体の音量
Wave	×	Wave ファイルの音量
3D Depth ※	○	3D 効果の調整
Aux ※	○	未使用
CD Player	○	未使用
Line In	○	未使用
Microphone ※	○	マイクイン・ジャックに接続したマイクと内蔵マイクの音量
Phone ※	×	モデムの音量
Line Out	×	未使用

■ 録音時の音量設定

項目	選択	設定する音量
Aux ※	×	未使用
CD Player	×	未使用
Line In	×	未使用
Microphone	○	マイクイン・ジャックに接続したマイクと内蔵マイクの録音音量
Phone ※	×	モデムの録音音量
Stereo Mix ※	×	再生音全体の録音音量

Memo

第3章

再インストール

本パソコンを使用していて思うように動かないときや、あらかじめインストールされているソフトウェアを誤って消してしまったときなどに行う「再インストール」について説明します。

1 インストールの流れ	50
2 インストールの準備	52
3 OS／ドライバのインストール	60
4 ドライバおよびユーティリティのインストール	72
5 プレインストールソフトのインストール	85
6 添付ソフトのインストール	91
7 ソフトウェアライブラリのアップデート	96

1 インストールの流れ

再インストールは、次の順番で行います。

分類	名 称	用意するもの	必要性	備 考
インストールの準備	起動ディスクの修正	ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク	必要に応じて	区画数を変えた場合、または増設ハードディスクユニットを取り付けた場合
	ハードディスクの圧縮の解除			ハードディスク圧縮時
	区画の作成／変更			—
	ポータブル CD-ROM ドライブ使用の設定			ポータブル CD-ROM ドライブ使用時
OS／ドライバのインストール	Windows 95 新規インストール	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク Windows 95 オペレーティングシステム CD ドライバーズ CD 	必須	—
	USB サポート			—
	DMA 修正モジュール			—
ドライバおよびユーティリティのインストール	DirectX7.0a	ドライバーズ CD	必須	ディスプレイドライバの前にインストールすること
	ディスプレイドライバ			DirectX インストール後
	サウンドドライバ			—
	モデムドライバ (※1)			—
	LAN ドライバ (※2)			—
	赤外線通信の設定		必要に応じて	—
	3 モードフロッピーディスクドライバ			1.2MB フォーマットフロッピーディスクを使用時
	プリンタの設定			対象プリンタ使用時
プレインストールソフトのインストール	Internet Explorer 4.01 SP2	ドライバーズ CD	必須	—
	タッチパネルドライバ (※3)		必要	—
	省電力管理ユーティリティ		必要に応じて	—
	Intel SpeedStep (※4)		必須	—
	WinDiag		必要	—
	Acrobat Reader		必要に応じて	—
	Intellisync			—
	FM 一発修正			—

分類	名 称	用意するもの	必要性	備 考	
添付ソフトのインストール	Internet Explorer 3.02	Windows 95 オペレーティングシステム CD	必要に応じて	—	
	セキュリティボタン	ドライバーズ CD		—	
	ワンタッチボタン設定			—	
	Virus Scan			—	
	はじめよう！インターネット(@nifty)			—	
	Alps Pointing-device Driver ^(※5)			—	
	クイックポイントIV ドライバ ^(※6)			—	
	MS-IME97A			—	
ソフトウェアライブラリのアップデート	ソフトウェアライブラリ	ドライバーズ CD	必須	ドライバやアプリケーションのインストール後	

(※ 1) : モデム搭載モデル

(※ 2) : LAN 搭載モデル

(※ 3) : [MC] タッチパネルモデル

(※ 4) : FMV-6700MF9/X

(※ 5) : [MF]

(※ 6) : [MC] ベースモデル

重 要

- ▶ 本書の手順に従ってインストールしても、ハードディスクの内容が完全にご購入時の設定に戻るわけではありません。
- ▶ フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブがない場合、別売の機器を用意してください。使用できる機器については、「システム構成図」をご覧ください。ポータブル CD-ROM ドライブを使用する場合は「[ポータブル CD-ROM ドライブを使うには](#)」(⇒ [P.58](#)) を行ってください。
- ▶ 添付の「ドライバーズ CD」には、機種によっては使用できないソフトウェアも含まれています。本書をご覧になり、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しないだけでなく、Windows、ドライバ、アプリケーションをすべて再インストールしなければならなくなることがあります。
なお、「ドライバーズ CD」のルートディレクトリに「本 CD について (Indexcd.htm)」という表があります。併せてご覧ください。
- ▶ 本書では内蔵ポインティングデバイスでの操作を前提に記述しています。
- ▶ 「必要性」に「必須」とあるものをすべてインストールすると、OS 追加プログラム(⇒ [P.18](#)) はすべてインストールされます。

2 インストールの準備

留意事項

- 区画の再設定を行うことにより、ハードディスクの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- Windows のインストールを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- 周辺機器を取り付けているときは、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。

ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて

POINT

▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。

次のいずれかに該当する場合、CD-ROM ドライブ名を変更する必要があります。

- 現在使用中のハードディスクで、ご購入時の設定から区画数を変更した場合
- 別売の増設ハードディスクユニットを取り付けた場合

修正する方法は次のとおりです。エディタ（メモ帳など）を使用して、下線の部分を変更する CD-ROM ドライブ名に修正してください。Autoexec.bat と Drvcopy.inf は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」のルートディレクトリにあります。

1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (…▶ P.15)。

以降の作業では、バックアップディスクを「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」として使用してください。

2 バックアップディスク内の Autoexec.bat と Drvcopy.inf の下線の部分を修正します。

- Autoexec.bat (1 箇所)


```

@ECHO OFF
PATH=A:¥
REM *****CD-ROM ドライブレター設定 *****
SET CDDRV=E
```

- Drvcopy.inf (3 箇所)
[SourceDisksNames]
 - :

99="%syscd%",,5,E:¥WIN95

98="%systemcd%",,5,E:¥

:
 - [RM.Auto.upd]

CmdAdd=MSCDEX.EXE, "/D:OEMCD001 /L:E" ([MF] のみ)

POINT

- ▶ ポータブルCD-ROM ドライブを使う設定になっている場合は、「CmdAdd=MSCDEX.EXE, …」の行は表示されないものもあります。

ハードディスクの圧縮を解除する

ドライブスペースで圧縮されたドライブがハードディスクに存在する場合、Windows をインストールできません。圧縮を解除してから Windows をインストールしてください。

Windows が起動できないなどの理由で圧縮を解除できない場合は、次の操作を行ってください。

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットし、本パソコンの電源を入れます。
- 2 メニューが表示されたら、「終了」を選択します。
MS-DOS プロンプトが表示されます。
- 3 ハードディスク内に保存したいファイルがある場合は、フロッピーディスクドライブに保存用のフロッピーディスクをセットし、ハードディスクから必要なファイルをコピーします。
手順 4 の操作を行うと、ハードディスクの内容を保存することができなくなります。必要なファイルは、必ずコピーしてください。
- 4 次のように入力し、【Enter】キーを押します。
delbspc [ホストドライブ]:
ファイルが削除されます。
- 5 本パソコンの電源を切ります。

ハードディスクの領域を設定する

次に該当する場合、ハードディスクの領域を設定する必要があります。

- 現在のハードディスク領域を変更したいとき

重要

- ▶ 区画の設定をご購入時から変更した場合、CD-ROM ドライブ名が変わり、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」が使用できなくなることがあります。この場合、「[ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて](#)」(…▶ P.52) を参照して、CD-ROM ドライブ名を変更してください。
- ▶ 区画を設定すると、ハードディスク上のデータは失われます。区画を設定する前に、必要なデータをバックアップしてください。
- ▶ 本パソコンご購入時は、区画形式の Save To Disk 領域 (…▶ P.108) が内蔵ハードディスクに設定されています。この Save To Disk 領域はメモリを最大に拡張した場合を想定して作成されているため、変更／削除する必要はありません。Save To Disk 領域は FDISK の「領域情報を表示」では「Non-DOS」と表示されます。
- ▶ Save To Disk 領域を削除してしまった場合は、区画を作成する前に「[PHDISK ユーティリティでの Save To Disk 領域の作成](#)」(…▶ P.108) を行ってください。ご購入時には区画形式の Save To Disk 領域が作成されています。なお、Save To Disk 領域は、取り付けられているメモリ容量に最適な容量で作成されるため、メモリを増設後は新たに Save To Disk 領域を作成する必要があります。
- ▶ 区画を設定する前に Windows 起動ディスクを作成してください (…▶ P.15)。区画を設定すると、Windows 起動ディスクを作成できなくなります。Windows 起動ディスクは、再インストール時に必要となる場合があります。必ず作成してください。
- ▶ 増設したハードディスクユニットの区画設定は、Windows のインストール後に行うことをお勧めします。

ハードディスク領域の概要

まず、ハードディスク領域の概要を説明します。

■ 基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域

ハードディスク領域には、次の2種類があります。

● 基本 MS-DOS 領域

OS をインストールするために必要な領域です。プライマリマスターに接続されたハードディスク（標準内蔵のハードディスク）の基本 MS-DOS 領域は、起動ドライブ（C ドライブ）になります。

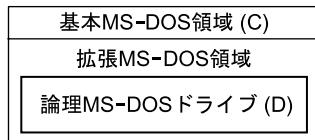
● 拡張 MS-DOS 領域

アプリケーションやデータを格納するための領域です。基本 MS-DOS 領域を設定している場合は、残りの領域すべてが拡張 MS-DOS 領域になります。

拡張 MS-DOS 領域内には、論理 MS-DOS ドライブを作成する必要があります。論理 MS-DOS ドライブを作成することで、拡張 MS-DOS 領域にドライブ名（D、E、F …）が割りふられます。論理 MS-DOS ドライブは複数（最高 23 個）作成できます。

POINT

- ▶ 本パソコンご購入時にはプライマリマスターのハードディスクに、基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域が設定され、拡張 MS-DOS 領域全体が 1 つの論理 MS-DOS ドライブに設定されています。



■ FAT16 と FAT32

ハードディスクの領域を設定する場合に、ファイルの管理形式として FAT16 または FAT32 のどちらかを選択できます。

FAT16 は最大 2GB までしかドライブを管理できません。そのため、2GB を超える領域を作成したい場合は FAT32 を使用します。しかし、FAT32 をサポートしていない OS (MS-DOS や WindowsNT 4.0 など) から FAT32 でフォーマットしたハードディスクを認識できません。このため、MS-DOS で作成された起動フロッピーからインストールを行うアプリケーションの場合、インストールに失敗するなどの問題が発生することがあります。

POINT

- ▶ Windows のインストールは、FAT16、FAT32 のいずれのファイルシステムに対しても実行できます。

ハードディスクの領域を設定するうえでの留意事項

ハードディスクの領域を設定する前にお読みください。

- 領域を削除したり容量を変更したりすると、領域内のファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップをとってください。
- 基本 MS-DOS 領域は、Windows のインストールに必要な領域 (最低 1GB) に設定してください。
- ご購入時の設定では Save To Disk が作成されています。Save To Disk 領域は「領域 1 (種類: Non-DOS)」と表示されます。特に設定し直す必要はありません。FDISK を使用して区画の設定を行う場合で Save To Disk 領域がないときは、MS-DOS 領域を作成する前に、PHDISK を使用して Save To Disk 領域を作成してください (⇒ P.108)。

ハードディスクの領域を設定する

FDISK を使用する前に、Save To Disk 領域があることを確認してください。Save To Disk 領域がない場合は、PHDISK であらかじめ作成してください (☞ P.108)。手順の流れを確認後、FDISK を起動してください。

■ 手順の流れ

1 FDISK で必要に応じて領域を削除する

削除は次の順番で行います。

- 1 拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブの削除
- 2 拡張 MS-DOS 領域の削除
- 3 基本 MS-DOS 領域の削除
- 4 Save To Disk 領域の削除

2 FDISK で領域を作成する

削除と逆の順番で行います。

POINT

- ▶ Save To Disk 領域を作成する場合は、PHDISK ユーティリティで作成してください (☞ P.108)。なお、区画形式の Save To Disk 領域を作成する場合は、MS-DOS 領域作成前に Save To Disk 領域を作成してください。

3 ドライブをフォーマットする

Windows をインストールするドライブは、インストール中にフォーマットされますので、フォーマットの必要はありません。

■ FDISK の起動方法と概要

FDISK は、次の手順で起動してください。なお、Windows がインストールされている環境で増設ハードディスクの領域を設定する場合は、Windows の MS-DOS プロンプトで「fdisk」と入力し、【Enter】キーを押してください。

1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

「Windows 95 セットアップメニュー」が表示されます。

3 【2】キーを押します。

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか...?」と表示されます。

4 FAT16 を使用する場合は【N】キーを、FAT32 を使用する場合は【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。

 **POINT**

- ▶ ハードディスクの領域は、FAT16 または FAT32 に切り替えることができます (☞ [P.55](#))。

「FDISK オプション」画面が表示されます。

5 次の説明と画面のメッセージを参照し、領域を設定します。

- MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する場合に選択します。
- アクティブな領域を設定
基本 MS-DOS 領域をアクティブ（領域に OS をインストールしたら起動できる状態）にする場合に選択します。なお、基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てた場合は、自動的にアクティブに設定されます。アクティブな領域は、「状態」に「A」と表示されます。

 **重要**

- ▶ 基本 MS-DOS 領域（領域 C）をアクティブに設定しないと、ハードディスクから起動できません。基本 MS-DOS 領域は、必ずアクティブに設定してください。
- 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
すでに設定されている基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除する場合に選択します。
- 領域情報を表示
現在の設定を確認する場合に選択します。
- 現在のハードディスクドライブを変更（ハードディスクを増設している場合に表示されます）
FDISK を起動すると、プライマリマスターのハードディスクを設定できる状態になります。これを増設したハードディスクに切り換える場合に選択します。

ポータブル CD-ROM ドライブを使うには

ポータブル CD-ROM ドライブを使用してインストールを行う場合は、添付の「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」の CD-ROM ドライバをポータブル CD-ROM ドライブ用に変更する必要があります。

〔MC〕は、ポータブル CD-ROM ドライブ (FMV-NCD43S/403) 以外の CD-ROM ドライブを使用する場合、変更が必要です。

ご購入時は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」は、次の標準 CD-ROM ドライブを取り付けた環境に合わせられています。

〔MF〕 内蔵 CD-ROM ドライブユニット

〔MC〕 ポータブル CD-ROM ドライブ (FMV-NCD43S/403)

〔MF〕の場合

1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (☞ [P.15](#))。

2 本パソコンの電源を切り、バックアップディスクを書き込み可能な状態でセットし、本パソコンの電源を入れます。

「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。

3 【3】キーを押します。

機種を選択するメニューが表示されます。

4 【2】キーを押します。

ポータブル CD-ROM ドライブユニットに変更されます。

5 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】キーを押します。

本パソコンが再起動し、「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。

6 現在のインストール環境を確認します。

これで設定は終了です。

FMV-NCD43S/403 以外のポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は、次の操作をしてください。

7 バックアップディスクからファイルを削除します。

バックアップディスクに入っている次の FMV-NCD43S/403 関連のファイルを削除します。

ATAKMGR.SYS

KMEKATCD.SYS

8 バックアップディスクにファイルをコピーします。

コピーするファイルについては、ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。

9 Config.sys を修正します。

バックアップディスクの Config.sys の該当箇所 (xxxxx) を使用するドライバ名に変更してください。

```
REM[CD-ROM Drive]
DEVICE=xxxxx.SYS
DEVICE=xxxxx.SYS /D:OEMCD001
```

【MC】の場合

1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (☞ P.15)。

2 バックアップディスクからファイルを削除します。

バックアップディスクに入っている次の FMV-NCD43S/403 関連のファイルを削除します。

```
ATAKMGR.SYS
KMEKATCD.SYS
```

3 バックアップディスクにファイルをコピーします。

ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているフロッピーディスクから、ドライバをコピーします。コピーするファイルについては、ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。

4 Config.sys を修正します。

バックアップディスクの Config.sys の該当箇所 (xxxxx) を使用するドライバ名に変更してください。

```
REM[CD-ROM Drive]
DEVICE=xxxxx.SYS
DEVICE=xxxxx.SYS /D:OEMCD001
```

作成した「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」のバックアップディスクは、書き込み禁止にして使用してください。

3 OS／ドライバのインストール

ここでは、Windows のインストールについて説明します。

Windows をインストールし直すようにメッセージが表示されたり、ソフトウェアが起動しないなどの現象が起こったりしたら、Windows の再インストールを行ってください。

なお、Windows のインストールは、ハードディスクの領域の容量を変えるなど、環境を変えて行うこともできます。

POINT

- ▶ インストールを行う前に、モデムやプリンタなどの周辺装置を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してからインストールを行ってください。インストールが終了したあとで、再度周辺装置を取り付けてください。
- ▶ ハードディスクを増設して CD-ROM ドライブ名が変更されている場合は、「[ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて](#)」(…▶ P.52) を参照して、ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクの CD-ROM ドライブ名を変更してください。
- ▶ 貴重なデータなどがある場合は、必ずバックアップをとってからインストールを始めてください。

Windows の新規インストール

ハードディスクにインストールされているアプリケーションやドライバも含めて、すべてのソフトウェアをいったん消去し、再度 Windows をインストールします。

次のものを用意してください。

- Windows 95 オペレーティングシステム CD
- ドライバーズ CD
- ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク
- 『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』
- マウス（内蔵ポインティングデバイスがない場合）

重要

- ▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。「[ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー](#)」(…▶ P.15) を参照してバックアップディスクを作成し、以降の作業ではバックアップディスクを使用してください。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。
- ▶ Windows のインストールでは、各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows のインストールが正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されてから、ポインティングデバイスで操作してください。

Windows のインストール

1 ポータブルCD-ROM ドライブをお使いの場合は、本パソコンにポータブルCD-ROM ドライブを接続します。

※ 重要

- ▶ 内蔵ポインティングデバイスがない場合は、マウスを接続してください。

2 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

ご購入時の設定に戻すには、BIOS セットアップ (⇒『ハードウェアガイド』参照) の設定を初期値に戻し、次の設定を行ってください。

- ・「メイン」メニュー内
フロッピーディスク A
(フロッピーディスクを使用する場合) : 1.44/1.2MB 3.5"
(スーパーディスクドライブを使用する場合) : 使用しない
- ・「詳細」メニュー内
その他の内蔵デバイス設定
 - ・ フロッピーディスクコントローラ
(フロッピーディスクを使用する場合) : 使用する
(スーパーディスクドライブを使用する場合) : 使用しない
- ・「省電力」メニュー
 - ・ ハードディスク省電力 : 使用しない
 - ・ ディスプレイ省電力 : 20 分
 - ・ スタンバイタイマー : 使用しない
 - ・ サスペンドタイマー : 30 分

BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

3 「ドライバーズCD用CD-ROMセットアップ起動ディスク」を書き込み禁止の状態にしてセットし、本パソコンを再起動します。

「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。

POINT

- ▶ ハードディスクの区画を設定する場合は、「[ハードディスクの領域を設定する](#)」(⇒ [P.54](#)) を参照して先に設定を行ってから、新規インストールを行ってください。

4 【1】キーを押します。

5 「Windows 95 オペレーティングシステム CD」をセットし、しばらくしたら【Y】キーを押します。

「注意！ドライブ C: のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか (Y/N) ?」と表示されます。

6 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。

フォーマットが始まります。終了すると「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

7 【Enter】キーを押します。

次のポイントを参照しながらメッセージに従って Windows セットアップを続けてください。

POINT

- ▶ フォーマットされていないドライブがある場合は、フォーマットを促す画面が表示されます。「フォーマットする（推奨）」を選択してドライブをフォーマットしてください。ドライブのフォーマット後に Windows セットアップが続行されます。
- ▶ インストールを中止する場合は、【Esc】キーを押してください。
- ▶ あとに続く操作手順は、起動ディスクを作成するダイアログボックスを除き、すべて初期値が選択されたことを前提に説明しています。
- ▶ ScanDisk が実行されたら、ScanDisk 終了後「終了」をクリックして【Enter】キーを押すか、【X】キーを押してください。
- ▶ Product ID (Product Key) を入力する画面が表示されたら、セットアップ時に書き留めた Product ID (☞ P.10) を入力してください。
- ▶ 「起動ディスク」ダイアログボックスでは「いいえ」をクリックしてください。本パソコンでは、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」で代用できます。

8 「コピー完了」ダイアログボックスが表示されたら、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を取り出します。**9 次の操作を行います。**

- 内蔵 CD-ROM ドライブユニットをお使いの場合
「完了」をクリックします。
- ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合
 - 1 PC カードを取り出し、ポータブル CD-ROM ドライブを取り外します。
 - 2 「完了」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
 - 3 「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。

重要

- ▶ 以降の操作で「Windows 95 オペレーティングシステム CD」を要求されたら、「c:\windows\options\cabs」と指定してください。
- ▶ PCCARD.VXD の「ハードウェアの設定」ダイアログボックスが表示されたら、「参照」をクリックして「ファイルのコピー元」に「c:\windows\system」と指定し、「OK」をクリックしてください。
- ▶ infrared.cpl の「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されたら、「参照」をクリックして「ファイルのコピー元」に「c:\windows\options\cabs」と指定し、「OK」をクリックしてください。

「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

10 「閉じる」をクリックします。

「プリンターウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

11 「キャンセル」をクリックします。

再起動メッセージが表示されます。

12 フロッピーディスクがセットされていないことを確認し、「OK」をクリックします。

Windows が再起動し、「赤外線デバイスウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

13 「キャンセル」をクリックします。

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

14 「閉じる」をクリックします。

ここからは本パソコンに合わせて Windows の設定を行います。

キーボードの種類の設定

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。**2** 「キーボード」アイコンをダブルクリックします。

「キーボードのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「情報」タブの「変更」をクリックします。**4** 「すべてのデバイスを表示」をクリックし、「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」をクリックし、「OK」をクリックします。
「キーボードの種類」が変更されます。

POINT

▶ Windows 95 の CD を要求された場合は、「OK」をクリックし、「ファイルのコピー元」に「c:\windows\options\cabs」と指定してください。

5 「閉じる」をクリックします。

再起動メッセージが表示されます。

6 「はい」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

リソースの設定

- 1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 デバイス一覧の一番上にある「コンピュータ」をダブルクリックします。
「コンピュータのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「リソースの予約」タブをクリックします。
- 5 「I/O ポートアドレス」をクリックし、「追加」をクリックします。
- 6 「開始の値 : 0170」、「終了の値 : 0177」を指定し、「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ 「リソースの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックしてください。

- 7 同様に、「追加」をクリックして「開始の値 : 0376」、「終了の値 : 0377」を指定し、「OK」をクリックします。
- 8 ダイアログボックスをすべて閉じます。

PC カードの設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「PC カード (PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。
「PC カード (PCMCIA) ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「いいえ」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 4 「いいえ」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 5 「完了」をクリックします。
電源切断メッセージが表示されます。
- 6 「はい」をクリックします。
本パソコンの電源が切れます。
- 7 MAIN スイッチを OFF にし、10 秒以上待ってから ON にします。
Windows が起動します。

- 8 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 9 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 10 デバイス一覧に「PCMCIA ソケット」が表示されていない場合は「OK」をクリックします。
デバイス一覧に「PCMCIA ソケット」が表示されている場合はダブルクリックし、「PCIC or compatible PCMCIA controller」が登録されていたら削除して、本パソコンを再起動します。
「PCIC or compatible PCMCIA controller」が登録されていなければ、「OK」をクリックします。

ポータブル CD-ROM ドライブのドライバのインストール (ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合)

FMV-NCD43S/403をお使いの場合は、次の手順でインストールしてください。

FMV-NCD43S/403 以外のポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は、ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルをご覧ください。
ポータブル CD-ROM ドライブをお使いでない場合は、この操作は必要ありません。

- 1 Windows を終了して本パソコンの電源を切ります。
- 2 パソコン本体にポータブル CD-ROM ドライブを取り付けます
($\cdots\blacktriangleright$ 『ポータブル CD-ROM ドライブのマニュアル』参照)。
- 3 ポータブル CD-ROM ドライブの電源を入れ、パソコン本体の電源を入れます。
「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 ポータブル CD-ROM ドライブに添付されている、「フロッピーディスク」をセットします。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 「完了」をクリックします。
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「OK」をクリックします。
「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
a:¥

9 フロッピーディスクを取り出します。

○ **POINT**

- ▶ 「ディスプレイヤダプタは使用不可にされています。」と表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示される「システムのプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックしてください。

以上で、ポータブル CD-ROM ドライブのドライバのインストールは終了です。

○ **POINT**

- ▶ ポータブル CD-ROM ドライブの使用時に、リソース競合などで CD-ROM ドライブが認識されない場合は、次の「FMV-NCD43S/403 の場合の設定変更」を参照してリソースを自動設定から手動設定に変更してください。

■ **FMV-NCD43S/403 の場合の設定変更**

- 1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャ」タブの「SCSI コントローラ」をダブルクリックします。
- 3 「PCMCIA ATA Card」をダブルクリックします。
「PCMCIA ATA Card のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「リソース」タブの「自動設定」のチェックを外して、競合していないリソースに設定します。

Windows のアップデート

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「ドライバーズ CD」の次の 3 つのプログラムを実行します。

[CD-ROM ドライブ]: ¥pccard¥cbss¥cbssupd. exe
 [CD-ROM ドライブ]: ¥pccard¥pccard¥pccardup. exe
 [CD-ROM ドライブ]: ¥pccard¥pci¥pciu. exe

それぞれ、次の操作を行ってください。

- ・「Windows 95 Update」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックします。
- ・「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックします。
- ・「Windows 95 Update」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。
- ・本パソコンを再起動します。

○ **POINT**

- ▶ 「ディスプレイヤダプタは使用不可にされています。」と表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示される「システムのプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックしてください。
- ▶ 画面が正常に表示されないことがあります。
- ▶ ファイルマネージャが表示されたら、閉じてください。

機種情報の設定

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
 [CD-ROM ドライブ] : ¥oemcopy.bat
 処理を選択する画面が表示されます。
- 4 お使いの機種に対応する数字を入力します。

POINT

- ▶ MS-DOS プロンプト画面が見づらい場合は、ウィンドウの右上の  をクリックしてください。

- 5 MS-DOS プロンプトのタイトルバーに「完了」と表示されたら、右上の  をクリックします。
- 6 本パソコンを再起動します。

POINT

- ▶ 再起動時にポータブル CD-ROM ドライブが認識されない場合があります。この場合、パソコン本体の電源を切り、10 秒以上たってから電源を入れてください。
- ▶ 「ディスプレイアダプタは使用不可にされています。」と表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示される「システムのプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックしてください。

パワーマネージメントの設定

パワーマネージメントは、必要に応じて設定してください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
 「コントロールパネル」 ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
 「電源のプロパティ」 ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「パワーマネージメント」タブをクリックします。
- 4 「Windows でコンピュータの電源管理をする」がチェックされていることを確認し、「タスクバーにバッテリーの状態を表示」のチェックを外します。
- 5 「詳細」をクリックします。
 「詳細のプロパティ」 ダイアログボックスが表示されます。

- 6 「詳細」タブをクリックします。
- 7 「[スタート]メニューの[サスペンド]コマンドの表示」がチェックされていることを確認し、「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」のチェックを外します。
- 8 「OK」をクリックします。
- 9 「ディスクドライブ」タブをクリックします。
- 10 「電源が AC の場合」と「電源がバッテリーの場合」のチェックを外します。
- 11 「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ 「Windows でコンピュータの電源管理をする」がチェックされていない場合はチェックし、メッセージに従って本パソコンを再起動してください。

MS-DOS モードの CD-ROM ドライバを使用しない設定 [MF]

ポータブル CD-ROM ドライブを使用する場合、この操作は必要ありません。Windows を新規インストールすると、MS-DOS モード用の CD-ROM ドライバがインストールされます。MS-DOS モードで CD-ROM を使用しない場合は次の操作を行ってください。

- 1 エディタ（メモ帳など）で C:\CONFIG.SYS を開き、CD-ROM デバイスの行に「rem」（空白含む）を追加し、同名で保存します。

```
DEVICE=C:\Realmode\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001 ...
↓
rem DEVICE=C:\Realmode\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001 ...
```

- 2 本パソコンを再起動します。

USB サポートのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:\usb\usbsupp.exe
「Microsoft 追補版 USB をインストールしますか?」と表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。

5 「使用許諾契約」をよく読み、同意するなら「はい」をクリックします。
スキャンディスク実行後、ファイルがコピーされます。ファイルのコピー終了後、終了メッセージが表示されます。

6 「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

7 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

8 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥usb¥usbupd2.exe
ファイルがコピーされます。

POINT

- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

9 ハードディスクアクセス表示、CD アクセス表示、および PC カードアクセス表示が点灯していないことを確認し、本パソコンを再起動します。

10 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

11 「デバイスマネージャ」タブの「その他のデバイス」をダブルクリックします。

12 「PCI Universal Serial Bus」をクリックし、「削除」をクリックします。
「デバイス削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

POINT

- ▶ 「デバイス削除の確認」ダイアログボックスに「すべての設定から削除」と「指定された設定から削除」の選択肢が表示された場合は、「すべての設定から削除」をクリックしてください。

13 「OK」をクリックします。

14 「更新」をクリックします。
「デバイスドライバーウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

15 「次へ」をクリックします。

16 「場所の指定」をクリックし、「場所」に次のように入力して「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥csetmx

17 「完了」をクリックします。

「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されます。

18 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

c:\windows\system

19 「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「閉じる」をクリックします。

ハードディスクの DMA の設定

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MD-DOS プロンプト」の順にクリックします。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
copy [CD-ROM ドライブ]:\dma\esdi_506.pdr c:\windows\system\iosubsys  
上書きを確認するメッセージが表示されます。
```

4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。

5 ウィンドウの右上の  をクリックし、本パソコンを再起動します。

6 デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

7 「デバイスマネージャ」タブの「ディスク ドライブ」をダブルクリックします。
接続されているディスク ドライブの一覧が表示されます。

8 ディスク ドライブの一覧から「GENERIC IDE DISK TYPExx」（標準搭載の
ハードディスク）をダブルクリックします。

「GENERIC IDE DISK TYPExx のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

9 「設定」タブをクリックします。

「現在のドライブ :」に C: があることを確認してください。もし、C: ドライブがない場合は、標準搭載のハードディスク以外を選択しています。「キャンセル」をクリックして再度ディスク ドライブをダブルクリックしてください。

10 「オプション」の「DMA」をチェックし、「OK」をクリックします。

「システムのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。

11 「OK」をクリックします。

再起動メッセージが表示されます。

12 「はい」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

西暦 2000 年問題に関する留意事項

この時点では、まだ西暦 2000 年問題を修正するプログラムはインストールされていません。このプログラムは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールします。

4 ドライバおよびユーティリティのインストール

Windows のインストールが終了したら、必要に応じて次のインストールを行ってください。

POINT

- ▶ ここでの説明は、本パソコンがご購入時の状態（周辺装置などを取り付けていない状態）であることを前提としています。

次のものを用意してください。

- Windows 95 オペレーティングシステム CD
- ドライバーズ CD

DirectX7.0a のインストール

POINT

- ▶ ディスプレイドライバ、サウンドドライバ（[MC] の場合）をインストールする前に必ずインストールしてください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:\dx70a\dx7a\jpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

ディスプレイドライバのインストール

POINT

- ▶ ディスプレイドライバをインストールする前に、DirectX7.0a を必ずインストールしてください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥ati¥setup.exe

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

ドライバのインストールが始まります。

インストールが終了すると、「セットアップの完了」ダイアログボックスが表示されます。

 **POINT**

▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認して「完了」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

7 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

8 「デバイスマネージャ」タブの「ディスプレイアダプタ」をダブルクリックし、次のものをダブルクリックします。

- RAGE MOBILITY PCI(Japanese)

9 「情報」タブの「デバイスの使用」の「このハードウェア環境で使用不可にする」がチェックされている場合は、チェックを外します。**10 「OK」をクリックします。** **POINT**

▶ 手順9でチェックを外した場合は、再起動メッセージが表示されます。「はい」をクリックして本パソコンを再起動してください。

11 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**12 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」をクリックします。****13 「モニター」タブの「変更」をクリックします。**

「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。

14 製造元とモデルを次のように選択し、「OK」をクリックします。

	製造元	モデル
〔MF〕	スタンダードモニター	ラップトップディスプレイパネル (1024 × 768)
〔MC〕	スタンダードモニター	ラップトップディスプレイパネル (800 × 600)

○ POINT

- ▶ 製造元とモデルの一覧が表示されない場合は、「すべてのデバイスを表示」をクリックしてください。
- ▶ 「リフレッシュレート」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示されるダイアログボックスで「はい」をクリックしてください。

「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスに戻ります。

15 すべてのダイアログボックスを閉じ、本パソコンを再起動します。

16 「画面のプロパティ」ダイアログボックスで解像度と色数を設定し、「OK」をクリックします (⇒ P.29)。

○ POINT

- ▶ ご購入時の設定値は、「デバイス一覧」(⇒ P.20)をご覧ください。
- ▶ 選択した色数によっては、「互換性の警告」ダイアログボックスが表示されます。「新しい設定でコンピュータを再起動する」をクリックし、「OK」をクリックしてください。

マウスポインタの設定

ここでは、マウスポインタを本パソコンご購入時の設定にする手順を説明します。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「Windows ファイル」タブの「アクセサリ」をクリックし、「詳細」をクリックします。
- 4 「マウスポインタ」をチェックし、「OK」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。
- 6 「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

7 「ポインタ」タブの「デザイン」一覧から、「Windows スタンダード（大きいフォント）」をクリックします。
マウスポインタの大きさが変更されます。

8 「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ 詳細に設定したい場合は、変更したいマウスポインタの状態（「ヘルプの選択」など）をクリックし、「参照」をクリックしてください。ファイルを選択できます。
- ▶ 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスの「動作」タブで「ポインタの速度」、「ポインタの軌跡」を設定することもできます。
- ▶ 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスの「ボタン」タブで、右きき用、左きき用の切り替えとダブルクリックの速度を設定できます。

富士通製のディスプレイを外部ディスプレイとして使用する場合の設定

- 1** Windows を終了し、本パソコンの電源を切ります。
- 2** ディスプレイを接続します（ディスプレイのマニュアル参照）。
- 3** 本パソコンの電源を入れます。
プラグアンドプレイモニターが検出されます。
- 4** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 5** デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 6** 「ディスプレイの詳細」タブで「詳細プロパティ」をクリックします。

POINT

- ▶ メッセージが表示されたら「キャンセル」をクリックします。

- 7** 「モニター」タブで「変更」をクリックします。
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 8** 「ディスク使用」をクリックします。
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 9** 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥monitor
- 10** お使いのディスプレイをクリックし、「OK」をクリックします。
- 11** 「閉じる」をクリックします。

12 「OK」をクリックします。

○ **POINT**

- ▶ 富士通製以外のディスプレイを使用する場合は同様の手順で、ディスプレイに添付のディスクからドライバをインストールしてください。
- ▶ USB Hub を内蔵しているディスプレイでは、Windows起動時にUSB Hubも検出されます。
この場合は、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力してください。
[CD-ROM ドライブ]:¥fjmonusb

サウンドドライバのインストール

○ **POINT**

- ▶ [MC] では、サウンドドライバをインストールする前に DirectX7.0a をインストールしてください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」タブの「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」をダブルクリックします。
- 4 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。
「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「はい」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 6 「場所の指定」をクリックします。
「場所の指定」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「場所」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[MF] [CD-ROM ドライブ]:¥yacxg
[MC] [CD-ROM ドライブ]:¥sigmatei
「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」と表示されます。
- 8 「完了」をクリックします。
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 9 「OK」をクリックします。
「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されます。

10 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

〔MF〕 [CD-ROM ドライブ]:¥yacxg

〔MC〕 [CD-ROM ドライブ]:¥sigmate1

ファイルがコピーされます。

POINT

▶ 「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されたら「OK」をクリックし、続いて表示されるimaadp32.acmの「ファイルのコピー」ダイアログボックスでは「c:¥windows¥options¥cabs」と指定してください。

11 「閉じる」をクリックします。

12 「デバイスマネージャ」タブの「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」をダブルクリックし、次のデバイスが表示されていることを確認します。

〔MF〕 YAMAHA AC-XG Audio

〔MC〕 QSound_Sigmatel Stac97 PCI Audio

13 「OK」をクリックします。

14 本パソコンを再起動します。

〔MC〕 は、ここで終了です。

〔MF〕 は、インストール後の確認を行います。

15 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

16 「マルチメディア」アイコンをダブルクリックします。

「マルチメディアのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

17 「MIDI」タブで「単一の機器」が次のデバイスになっていることを確認します。

〔MF〕 YAMAHA AC-XG Synthesizer

18 「OK」をクリックします。

19 「コントロールパネル」ウィンドウの右上の  をクリックします。

ボリュームコントロールの設定【MC】

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」の順にクリックします。
「Volume Control」ウィンドウが表示されます。
- 2 「Line In」と「CD Player」の「ミュート」にチェックを付けます。

POINT

- ▶ Line In と CD Player は、未使用の機能です。

- 3 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
- 4 「音量の調整」で「再生」が選択されていることを確認します。
- 5 「表示するコントロール」で「Microphone」にチェックを付け、「OK」をクリックします。
- 6 「オプション」メニュー→「トーン調整」の順にクリックします。
- 7 Microphone の「トーン」をクリックします。
「Microphone の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「そのほかの調整」で「Microphone Boost」のチェックを外し、「閉じる」をクリックします。

POINT

- ▶ 「Microphone Boost」にチェックを付けているとマイクの音が大きくなり、ハウリングをおこすことがあります。

- 9 「オプション」メニュー→「トーン調整」の順にクリックし、「トーン調整」のチェックを外します。
- 10 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
- 11 「音量の調整」で「再生」が選択されていることを確認します。
- 12 「表示するコントロール」で「Microphone」のチェックを外し、「OK」をクリックします。
- 13 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
- 14 「音量の調整」で「録音」を選択します。

- 15** 「表示するコントロール」で「Microphone」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリックします。
- 16** 「Microphone」の「選択」にチェックを付けます。
- 17** 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
- 18** 「音量の調整」で「再生」を選択し、「OK」をクリックします。
- 19** ウィンドウ右上の  をクリックします。

マルチメディアサウンド設定のインストール

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」 ウィンドウが表示されます。
- 2** 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3** 「Windows ファイル」タブをクリックします。
- 4** 「ファイルの種類」で「マルチメディア」をクリックし、「詳細」をクリックします。
- 5** 「マルチメディアサウンド設定」に チェックを付け、「OK」をクリックします。
- 6** 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。

モデムドライバのインストール（モデム搭載モデル）

- 1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2** 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3** 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 4** 「その他のデバイス」に登録されている「PCI Card」をクリックし、「削除」をクリックします。
「デバイス削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。
- 5** 「OK」をクリックします。

6 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。

7 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ] : ¥modem¥setup. exe
「Welcome」ダイアログボックスが表示されます。

8 「Next」をクリックします。

インストールが始まり、終了すると「Setup Complete」ダイアログボックスが表示されます。

POINT

▶ 「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示された場合は、「OK」をクリックし、ファイルのコピー元に次のように入力して「OK」をクリックしてください。
[CD-ROM ドライブ] : ¥modem

9 「Finish」をクリックします。

POINT

▶ 再起動メッセージが表示された場合は、「Yes,I want to restart my computer now」をクリックし、本パソコンを再起動してください。

モデムの設定

モデムドライバをインストールしたら、「モデムを設定する」(⇒ P.33)をご覧になり、モデムを設定してください。

LAN ドライバのインストール (LAN 搭載モデル)

- 1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2** 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3** 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 4** 「その他のデバイス」に登録されている「PCI Ethernet Controller」をクリックし、「削除」をクリックします。
「デバイス削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

POINT

- ▶ 「デバイス削除の確認」ダイアログボックスに「すべての設定から削除」と「指定された設定から削除」の選択肢が表示された場合は、「すべての設定から削除」をクリックしてください。

- 5** 「OK」をクリックします。
- 6** 「更新」をクリックします。
「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 7** 「次へ」をクリックします。
- 8** 「場所の指定」をクリックします。
- 9** 「場所」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥\an
- 10** 「完了」をクリックします。
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 11** 「OK」をクリックします。
- 12** 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥\an
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
- 13** 「OK」をクリックします。

14 「コンピュータ名」、「ワークグループ」を使用環境に合わせて半角英数字で入力し、「閉じる」をクリックします。

POINT

- ▶ 「コンピュータ名」と「ワークグループ」はネットワーク管理者に確認してください。
- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら「はい」をクリックしてください。

ファイルのコピーが始まります。

15 再起動メッセージが表示されたら「はい」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。

16 「キャンセル」をクリックします。

17 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。

18 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥lan¥i55xset.exe

19 本パソコンを再起動します。

20 接続するネットワーク環境にあわせて、ネットワークの設定を行います。

赤外線通信の設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」 ウィンドウが表示されます。
- 2 「赤外線モニター」アイコンをダブルクリックします。
「赤外線モニター」 ウィンドウが表示されます。
- 3 「オプション」タブをクリックします。
- 4 「次のポートで赤外線通信を使用可能にする」の「COM1」を「COM4」に変更します。
- 5 「OK」をクリックします。

3 モードフロッピーディスクドライバのインストール

3 モードフロッピーディスクドライバをインストールすると、1.44MB、1.2MB、720KB のフロッピーディスクの読み書きができます。ただし、1.2MB でフォーマットすることはできません。

※ 重 要

- ▶ スーパーディスクドライブは本ドライバをサポートしていないため、スーパーディスクドライブをお使いの場合は本ドライバをインストールする必要はありません。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ハードウェア」アイコンをダブルクリックします。
「ハードウェアウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「次へ」をクリックします。
「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」と表示されます。
- 5 「いいえ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
ハードウェアの種類を選択する画面が表示されます。
- 6 「ハードウェアの種類」で「フロッピーディスクコントローラ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
製造元とモデルの一覧が表示されます。
- 7 「ディスク使用」をクリックします。
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥3mode
モデル一覧が表示されます。
- 9 「Fujitsu 3-mode Floppy (FMV Series)」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 10 「完了」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。
- 11 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

プリンタの設定

富士通製プリンタの設定

富士通製のプリンタをお使いの場合は、次の操作を行ってください。

- 1** 「ドライバース CD」をセットします。
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
- 3** 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
「プリンタ ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4** 「次へ」をクリックします。
- 5** 「ローカルプリンタ」または「ネットワークプリンタ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 6** 「ディスク使用」をクリックします。
- 7** 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥fm\bp
- 8** お使いのプリンタをクリックします。

このあとは、メッセージに従って操作してください。

POINT

- ▶ 「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されたら、「c:¥windows¥options¥cabs」と指定してください。

5 プレインストールソフトのインストール

Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥i386¥setup.exe
- 4 「Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール」のアイコンをクリックします。
あとは次のポイントをご覧になり、メッセージに従って操作してください。

POINT

- ▶ ご購入時は、次の設定でインストールされています。
 - ・ インストールオプション … 完全インストール
 - ・ デスクトップのアップデート … いいえ

インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されます。

- 5 「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
- 6 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。
- 7 次のように入力し、【Enter】キーを押します。
copy c:¥windows¥options¥cabs¥rmm. pdr c:¥windows¥system¥iosubsys
上書きを確認するメッセージが表示されます。
- 8 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
- 9 ウィンドウの右上の  をクリックします。

Internet Explorer 4.01 SP2 のインストールが終了したら、西暦 2000 年問題修正モジュールと URL Security アップデートプログラムをインストールします。「ドライバーズ CD」をセットしたまま操作してください。

西暦2000年問題修正モジュールのインストール

POINT

- ▶ このモジュールは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥y2k¥w95y2k.exe
使用許諾の画面が表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
「続行しますか?」と表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

OutlookExpress 用西暦2000年問題修正モジュールのインストール

POINT

- ▶ このモジュールは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥oey2k¥ja-x86-q234680.exe
「この修正プログラムをインストールしますか?」と表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
「この修正プログラムはインストールされました。」と表示されます。
- 4 「OK」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

URL Security アップデートプログラムのインストール

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
 [CD-ROM ドライブ]:¥urlupd¥245729ja5.exe
 「続行しますか?」と表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
 使用許諾の画面が表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。
 再起動メッセージが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。
 本パソコンが再起動します。

タッチパネルドライバのインストール ([MC] タッチパネルモデル)

※ 重 要

- ▶ タッチパネルドライバをインストールするには、USBサポートと Internet Explorer 4.01 SP2 がインストールされている必要があります。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
 [CD-ROM ドライブ]:¥tpanel¥setup.exe
 「タッチパネルドライバのインストール」 ウィンドウが表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。
 必要なファイルがコピーされ、「Fujitsu Touch Panel Install/Update」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 CD-ROM ドライブが止まっていることを確認し、「OK」をクリックします。
- 6 本パソコンを再起動します。

POINT

- ▶ タッチパネルドライバの再インストール後は、タッチパネルの調整が必要になります
 (☞ P.13)。

省電力管理ユーティリティのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:\\$pmset\\$setup.exe

このあとはメッセージに従って操作します。

Intel SpeedStep のインストール (FMV-6700MF9/X)

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:\\$spdstep\\$setup.exe
「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「次へ」をクリックします。
「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。
「セットアップの完了」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックします。

Windows 環境調査ツール（WinDiag）のインストール

- 1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥windiag¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Acrobat Reader のインストール

- 1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥acrobat¥ar405jpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

- 4** 本パソコンを再起動します。

Intellisync のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥intsync¥disk1¥setup.exe

インストールが始まります。次のPOINTをご覧になり、メッセージに従って操作します。

POINT

- ▶ 「ユーザの情報」ダイアログボックスでは次のように入力してください。
名前 : FMV-USER
会社名 : FM-USER
シリアル番号 : FUJ014
- ▶ 「セットアップの完了」ダイアログボックスでは「Readme ファイルの起動」のチェックを外し、「IrWizard を起動して赤外線接続を設定します。」をチェックしてください。
- ▶ 「赤外線の設定ー現在のデバイス」ダイアログボックスでは「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」が選択されていることを確認し、「完了」をクリックしてください。
「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」が選択されていない場合は、「次へ」をクリックしてメッセージに従って「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」を選択してください。「赤外線の設定ー IrComm ポートの選択」ダイアログボックスおよび「赤外線の設定ー IrLPT ポートの選択」ダイアログボックスでは、「None」をクリックしてください。

FM 一発修正のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥fmcure¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

6 添付ソフトのインストール

Internet Explorer 3.02 のインストール

POINT

- ▶ Internet Explorer 4.01 をアンインストールしてから、インストールしてください（☞ P.22）。

- 1 Windows 95 オペレーティングシステム CD をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥other¥ie302¥msie302.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

POINT

- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

セキュリティボタンのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥security¥user¥setup.exe

POINT

- ▶ 管理者用セキュリティボタンをインストールする場合は、次のように入力してください。
[CD-ROM ドライブ]:¥security¥supervisor¥setups.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

使い方については『セキュリティボタン取扱説明書』をご覧ください。

ワンタッチボタン設定のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥onetouch¥setup. exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

POINT

- ▶ ワンタッチボタンは OS 起動中のみ使用できます。
なお、ワンタッチボタン設定のタブ表記については、「留意事項」(▶ P.112) をご覧ください。

VirusScan のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥vscan¥setup. exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

はじめよう！インターネット(@nifty) のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥nifty¥setup. exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Alps Pointing-device Driver のインストール [MF]

POINT

- ▶ インストールする前に、「[フラットポイントの留意事項 \[MF\]](#)」(▶ P.112) をご覧ください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「情報」タブの「変更」をクリックします。
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「ディスク使用」をクリックします。
- 6 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥alps
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「Alps GlidePoint」をクリックし、「OK」をクリックします。
「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示され、ファイルのコピーが始まります。
コピーが終了するとダイアログボックスは自動的に閉じます。

POINT

- ▶ コピー中に「ファイルのコピー元」を尋ねられた場合は、手順 6 で指定したドライバのあるドライブ名とフォルダ名を入力してください。

- 8 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスの「閉じる」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。
- 9 「はい」をクリックします。

クイックポイント IV ドライバのインストール ([MC] ベースモデル)

POINT

- ▶ インストールする前に、「他のマウスドライバをインストールするには [MC]」
（[P.112](#)）および「クイックポイント IV ドライバの留意事項 ([MC] ベースモデル）」
（[P.113](#)）をご覧ください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「情報」タブの「変更」をクリックします。
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「ディスク使用」をクリックします。
- 6 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:\\$qpoint
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「Fujitsu PS/2 QuickPoint4」をクリックし、「OK」をクリックします。
「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示され、ファイルのコピーが始まります。
コピーが終了するとダイアログボックスは自動的に閉じます。
- 8 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスの「閉じる」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。
- 9 「はい」をクリックします。

POINT

- ▶ コピー中に「ファイルのコピー元」を尋ねられた場合は、手順 5 で指定したドライバのあるドライブ名とフォルダ名を入力してください。

MS-IME97A のインストール

△ 重 要

- ▶ 本パソコンのご購入時と Windows の新規インストール後は、MS-IME95 がインストールされています。下記の手順で MS-IME97A にアップデートすることができますが、アップデート後は MS-IME95 の関連ファイルが削除されます。アップデート後 MS-IME95 に戻すには Windows を新規インストールする必要があります。
- ▶ MS-IME97A をお使いの際は、充分な検証を行ってください。環境によっては、起動時に不具合が起こることがあります。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:\msime97\msime97.exe

ファイルがコピーされ、本パソコンが再起動します。

7 ソフトウェアライブラリのアップデート

添付ソフトなど新たにソフトウェアをインストールしたとき、アプリケーションによっては追加された MFC ライブラリをアップデートする必要があります。

アップデート方法

使用するソフトウェアすべてをインストール後にアップデートしてください（1 つのソフトウェアをインストールするごとにアップデートする必要はありません）。該当する MFC ライブラリが検出・アップデートされます。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥libupd¥speu.exe
- 4 本パソコンを再起動します。

第4章

困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことが
あったときの対処方法について説明していま
す。

4

1 こんなときには	98
2 それでも解決できないときは	104

1 こんなときには

ここでは、Windows の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

Windows に関して

添付の Windows のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

トラブルシューティング

Q 画面の文字やウィンドウのボタンが正しく表示されない、フォントがインストールできない、ネットワークプロトコルが追加できない

A 「FM一発修正」を使用してください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

c:\fjuty\fmccure\fmccure.exe

Q Windows が起動しなくなった

A1 「ドライバース CD」に入っている「QT-PC/U」という診断プログラムでパソコンの診断をしてください。

診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えておき、お問い合わせの際にお知らせください。

診断時間は通常 5～10 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

POINT

▶ 「QT-PC/U」によるパソコンの診断は、内蔵 CD-ROM ドライブから実行できます。ポータブル CD-ROM ドライブからは、実行できません。

1 「ドライバース CD」をセットします。

2 本パソコンの電源を一度切り、再び電源を入れます。

3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。

4 CD-ROM を選択し、【Enter】キーを押します。

自動的に診断が開始されます。診断は 6 項目について行われ、各項目の診断結果が画面の「STATUS」の部分に表示されます。

- ・診断でエラーが発生した場合は、「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 行のエラーコードが表示されます。

お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。

- ・診断でエラーが発生しなかった場合は、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。

5 診断が終了し、画面の「Message Display」部に次のように表示されたら、CD-ROM を取り出します。

Eject CD-ROM.

Press Ctrl + ALT + DEL for power off

6 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】キーを押します。

7 次のように表示されたら、【Enter】キーを押します。

[Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?

約 5 秒後に電源が切れます。

ただし、機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切れない場合があります。

Please power off manually

この場合は、パソコン本体の電源を切ってください。

A2 上記の操作でエラーが発生しなかった場合は、「再インストール」(⇒ P.49) をご覧になり、本パソコンをご購入時の状態に戻してください。

それでも解決しない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

Q プログラム実行中に Windows 上のすべてのものが動かなくなってしまった

A 次の手順で Windows を終了させてください。

1 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】キーを押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

2 動かなくなったプログラムを選択し、「終了」をクリックします。

プログラムが強制終了します。

もし上記の操作で強制終了できないときは、【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】キーを押す操作を 2 回繰り返して、Windows を強制的に再起動してください。

この方法で再起動できないときは、MAIN スイッチを OFF にし、10 秒以上待ってから MAIN スイッチを ON してください。

POINT

- ▶ プログラムを強制終了したり、本パソコンを再起動したり、強制的に電源を切った場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- ▶ プログラムを強制終了したり、本パソコンを強制的に再起動したり、強制的に電源を切った場合は、「スキャンディスク」を実行することをお勧めします。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」の順にクリックしてください。

スキャンディスクを実行した結果、エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示されたときは、メッセージに従って修復してください。ただし、修復してもトラブルが発生する可能性があります。トラブルが頻繁に発生する場合は、Windows、ドライバおよびユーティリティ、アプリケーションを再インストールしてください (⇒ P.50)。

Q ポインティングデバイスが使えないため、Windows 95 を終了できない

A キーボードを使って Windows 95 を終了させることができます。

1 【Windows】キーまたは【Ctrl】+【Esc】キーを押します。

「スタート」メニューが表示されます。

2 「Windows の終了」を選択し【Enter】キーを押します。

「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。

3 「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択し、【Enter】キーを押します。

Windows が終了します。

ポインティングデバイスが故障している場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元に連絡してください。

Q ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバおよびタッチパネルドライバ（[MC] タッチパネルモデル）が正しく動作しない

A1 Windows の画面が正常に表示されない場合は、Safe モードで起動し、ディスプレイドライバを変更してください。

手順は次のとおりです。

1 本パソコンの電源を入れます。

2 「Starting Windows 95 ...」と表示されたら、【F8】キーを押します。

「Microsoft Windows 95 Startup Menu」が表示されます。

3 「3. Safe mode」を選択し【Enter】キーを押します。

POINT

▶ 「キーボードのタイプを判定します。」と表示されたら、【半角／全角】キーを押します。

しばらくすると、「デスクトップ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「OK」をクリックします。

5 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「画面プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

6 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」をクリックします。

「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

7 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。

「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。

8 「すべてのデバイスを表示」をクリックします。

9 「製造元」を「(スタンダードディスプレイ)」に、「モデル」を「スタンダードディスプレイアダプタ (VGA)」に設定し、「OK」をクリックします。

10 すべてのダイアログボックスを閉じ、メッセージに従って本パソコンを再起動します。

このあと、ディスプレイドライバをインストールしてください（[P.72](#)）。

POINT

▶ 再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示されたときは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで色数を 16 色に設定して、本パソコンを再起動してください。

▶ 「OK をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示されたときは、必ず「キャンセル」をクリックしてください。

A2 サウンドまたは LAN の動作に問題がある場合は、各ドライバをインストールし直す必要があります。

お使いの機種に対応する各ドライバは、「[デバイス一覧](#)」(…▶ P.20) でご確認ください。インストール方法については、「[ドライバおよびユーティリティのインストール](#)」(…▶ P.72) をご覧ください。

Q PC カードが使えない

A1 PC カードのドライバはインストールされていますか？

PC カードに Windows 95 対応のドライバが添付されている場合、ドライバをインストールする必要があります。PC カードに添付のマニュアルをご覧ください。

A2 IRQ リソースは足りていますか？

IRQ リソースが不足する場合があります。次の操作を行ってください。

- 1 お使いにならないデバイス（プリンタなら「パラレルポート」など）を BIOS セットアップで「使用しない」にします（…▶『[ハードウェアガイド](#)』参照）。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 4 お使いにならないデバイス（プリンタなど）をダブルクリックします。
- 5 「情報」タブの「このハードウェア環境で使用不可にする」をチェックします。
- 6 「OK」をクリックします。
- 7 「閉じる」または「OK」をクリックします。

A3 上記の点をすべて確認したが、PC カードが 2 枚使えない場合は、次の操作を行ってください。

「PCI ステアリング用 IRQ ホルダー」が使用する IRQ リソースを、すべて同じ値に設定する必要があります。

PC カードがセットされていない状態のとき、次の設定を行ってください。

POINT

▶ すでに Windows を起動している場合、再起動してから次の操作を行ってください。

- 1 Windows 95 を起動し、SUS/RES スイッチを押します。

サスPENDします。

- 2 サスPENDしたら、もう一度 SUS/RES スイッチを押します。

レジュームして、Windows の画面が表示されます。

- 3 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

- 4 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

- 5 「システムデバイス」をダブルクリックします。

- 6 「システムデバイス」の下にあるすべての「PCI ステアリング用 IRQ ホルダー」のプロパティで「リソース」タブにある「リソースの設定」を確認し、書き留めます。

- 7 他の「PCI ステアリング用 IRQ ホルダー」と異なる IRQ リソースを使用している「PCI ステアリング用 IRQ ホルダー」のプロパティを表示します。

- 8 「自動設定」のチェックを外し、「設定の変更」をクリックします。

「IRQ の編集」ダイアログボックスが表示されます。

- 9 「値」を他の「PCIステアリング用IRQホルダー」と同じ値にし、「OK」をクリックします。
「PCIステアリング用IRQホルダーのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
- 10 「OK」をクリックします。
「変更不可の環境設定の作成」ダイアログボックスが表示されます。
- 11 「はい」をクリックします。

Q 新しくアプリケーションをインストールしたあと、他のアプリケーションを実行中にアプリケーションエラーが発生するようになった

A アプリケーションのインストール時に追加された MFC ライブラリに問題がある場合があります。ソフトウェアライブラリをアップデートしてください (⇒ P.96)。

Q レジューム後、時計が遅れる

A 「パワーマネージメント」の設定を、次の手順で変更してください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
「電源のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「パワーマネージメント」タブの「Windowsでコンピュータの電源管理をする」をチェックします。
- 4 「OK」をクリックします。

Q サウンドレコーダーで録音したサウンドファイルの音質やノイズが気になる

A 次の操作を行ってみてください。

- 1 サウンドレコーダーを起動します。
- 2 「編集」メニュー→「オーディオのプロパティ」の順にクリックします。
- 3 「優先する音質」で「CDの音質」、「ラジオの音質」、「電話の音質」の3種類から最適なものをクリックします。
- 4 「OK」をクリックします。
音質が変更されます。

Q 表示画面が乱れる

A アプリケーションを使用中に、アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった場合は、次の手順でウィンドウの再表示を行ってください。

- 1 ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
- 2 タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックします。

POINT

- ▶ 次のような場合に表示画面が乱れることがあります、動作上は問題ありません。
 - Windows起動時および画面の切り替え時
 - DirectXを使用した一部のアプリケーション使用時

Q 赤外線通信がうまくいかない

A 赤外線通信ドライバをアップデートしてください。
アップデートの手順については、「ドライバーズCD」の「Smc」フォルダ内のReadme.txtをご覧ください。

Q ネットワークに接続しないで本パソコンを使用したい

A 次の設定を行った状態で、ネットワークに接続せずに本パソコンを使用する場合は、ログオン画面で「キャンセル」をクリックしてください。「OK」をクリックすると、コンピュータが応答しなくなることがあります。応答しなくなった場合は、ネットワークに接続してから使用してください。

- ・「ネットワーク」ダイアログボックスで、次の項目を両方チェックしている
「ネットワーク」ダイアログボックスを表示するには、「ネットワークコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- ・「Microsoft ネットワーククライアントのプロパティ」:「Windows NT のドメインにログオンする」
- ・「NetBEUI のプロパティ」:「バインド」タブの「Microsoft ネットワーククライアント」

2 それでも解決できないときは

下記の連絡先へお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名と MODEL を確認し、「お問い合わせ前の確認シート」(⇒ P.106) に環境とトラブル状況などを記入してください。

機種名と MODEL の表記場所

パソコン本体のラベルに記載されています。



連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」※ またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」※
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	「お問い合わせ一覧」(⇒ P.105)

※：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」の連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス (カタログ、Q&A 情報)	043-299-3642 (千葉) 06-6949-3270 (大阪)
インターネット (製品の技術情報、Q&A 情報)	富士通パソコンホームページ 「FM WORLD.NET」 http://www.fmworld.net/

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2001年4月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください。

●はじめよう！インターネット(@nifty)

- ・入会／@nifty サービス全般
ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
9:00～21:00（指定の休日を除く）
電話：0120-816-042
(携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902)
E-mail：feedback@nifty.com
URL：<http://www.nifty.com/support/madoguchi/index.htm>
- ・パスワード再発行／各種手続き／解約
ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
9:00～21:00（指定の休日を除く）
電話：0120-842-210
(携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806)
E-mail：feedback@nifty.com

●VirusScan Ver.4.5

- 日本ネットワークアソシエイツ株式会社
テクニカルサポートセンター
9:00～12:00、13:00～17:00（土日、祝祭日を除く）
電話：03-3379-7770

URL：<http://www.nai.com/japan/>

●Adobe Acrobat Reader4.05

- ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。
ご了承ください。

●その他 FMシリーズの技術的なご質問・ご相談

- 富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口
(添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください)

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

お問い合わせ前の確認シート

お客様の環境

お使いの パソコンの 機種は？	機種名：FMV		
	MODEL：FMV		
	購入日：	購入店：	
メモリの容量は？	本体標準： MB		
	増設： MB	[メーカー：]	[型番：]
増設した 周辺機器は？	種類	型番号	メーカー
お使いの ソフトウェアは？	ソフトウェア名	バージョン／レベル	メーカー
	Windows 95	4.00.950B (OSR2.1)	—

トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに 起こりましたか？	
エラーメッセージは 表示されましたか？ その内容は何ですか？	
以前は問題なく 動作していましたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前は動作した ・ 今回初めて試した ・ 以前から動作しない

第 5 章

技術情報

留意事項および Save To Disk 領域について説明
しています。

1	Save To Disk 領域	108
2	その他の留意事項	111

1 Save To Disk 領域

ここでは、Save To Disk 領域の概要と作成方法を説明します。

形式と容量

Save To Disk 領域には、「区画形式」と「ファイル形式」があります。また、Save To Disk 領域として必要になる容量は、次のように決まります。

Save To Disk 領域の必要容量 = メインメモリ容量 + ビデオメモリ容量・その他

Save To Disk 領域の必要容量には、メインメモリ容量とビデオメモリ容量以外に若干の作業領域が必要です。そのため、Save To Disk 領域の容量は、メインメモリ容量とビデオメモリ容量の合計よりも多くなっています。

ご購入時の設定については、「[Save To Disk 領域](#)」(⇒ P.21) をご覧ください。

POINT

- ▶ 区画形式で Save To Disk 領域を作成する場合は、ファイル形式で Save To Disk 領域を作成する場合よりも、大きな容量が必要になります。
- ▶ 「ドライブスペース」などのディスク圧縮機能で圧縮されたドライブ上では、Save To Disk 領域をファイル形式で使用することはできません。Save To Disk 領域をファイル形式で作成しているときは、「ドライブスペース」などのディスク圧縮機能は使用しないでください。

PHDISK ユーティリティでの Save To Disk 領域の作成

PHDISK ユーティリティには、Save To Disk 領域の作成、再フォーマット、削除および詳細情報の表示などの機能があります。本パソコンご購入時に Save To Disk 領域が作成されているので、再フォーマット、削除および詳細情報の表示などを行いたい場合に PHDISK ユーティリティを使用してください。PHDISK ユーティリティ (PHDISK.EXE) は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」に含まれています。

重要

- ▶ 区画形式の Save To Disk 領域の作成は、FDISK ユーティリティによる MS-DOS 領域作成前に行ってください。
- ▶ Save To Disk 領域を作成後は必ずパソコン本体を再起動してください。
- ▶ 作成直後に Save To Disk を行うと正しく動作しない場合があります。
- ▶ Save To Disk 領域はファイル形式または、区画形式のどちらか一方しか作成できません。
- ▶ 区画形式の Save To Disk 領域の容量を増やす場合は、組み込まれている MS-DOS 領域の容量を FDISK により減らす必要があります。この際、それまでの MS-DOS 領域内のデータはすべて失われます。作業前に大切なデータをバックアップしてください。

また、Windows 95 の場合、PHDISK ユーティリティは、Windows モードが起動していると正しく動作しません。PHDISK ユーティリティは、MS-DOS モードを起動し、MS-DOS モード上でお使いください。

● 使用方法

PHDISK [オプション]

オプションは次のとおりです。

```
/CREATE /FILE (または /PARTITION)
/DELETE /FILE (または /PARTITION)
/REFORMAT /PARTITION
/INFO
```

それぞれのオプションは、先頭の1文字だけでも有効です。たとえば、/CREATE と /C は同じです。PHDISK とオプションの間、オプションとオプションの間は、半角空白を1つ入れてください。また、PHDISK をオプションなしで起動すると、簡単な使用方法、現在作成されている領域などが表示されます。

■ オプションについて

● /CREATE /FILE (または /PARTITION)

このオプションは Save To Disk 領域がまだ作成されていない場合に使用します。

/CREATE /FILE と指定すると、Save To Disk 領域をファイル形式で作成します。

/CREATE /PARTITION と指定すると、Save To Disk 領域を区画形式で作成します。Save To Disk 領域の容量は、現在のシステム構成で最適な容量の領域を作成します。

区画形式で作成した場合、Save To Disk 領域の作成が終わると、その区画のフォーマットを開始します。フォーマット中にハードディスクに不良セクタを見つけた場合は、そのセクタにマークを付けて、以後使用しないようにします。

● /REFORMAT /PARTITION

区画形式の Save To Disk 領域を再フォーマットします。

このオプションは、Save To Disk 機能を使用していて、読み出しエラーや書き込みエラーが起こった場合に使用してください。再フォーマット中にハードディスクに不良セクタを見つけた場合は、そのセクタにマークを付けて、以後使用しないようにします。Save To Disk 領域の容量が変わることはありません。

● /DELETE /FILE (または /PARTITION)

すでに作成されている Save To Disk 領域を削除する場合に使用します。

/DELETE /FILE と指定すると、ファイル形式の Save To Disk 領域を削除します。

/DELETE /PARTITION と指定すると、区画形式の Save To Disk 領域を削除します。

Save To Disk 領域の容量を変更したい場合は、まず /DELETE によりすでに作成された Save To Disk 領域を削除し、/CREATE により新たに希望の容量の Save To Disk 領域を作成します。

● /INFO

すでに作成されている Save To Disk 領域に関する詳細情報を表示します。

● 表示例《区画形式》

Save to Disk 領域詳細情報：

開始セクタ：XXXXXXX (ヘッド X、シリンド XXX、セクタ X)

全容量：XXXXX バイト

現在の状態：

現在の構成では、XXXXXk バイトの Save to Disk 領域が必要です。PHDISK はさらに多少の作業領域を必要とし、実際に必要な全領域のバイト数を自動的に計算します。

● 表示例《ファイル形式》

Save to Disk 領域詳細情報 :

現在の Save to Disk 領域は、ファイル名が C:¥SAVE2DSK.BIN で、サイズは XXXXXk bytes です。属性は、システム、隠しファイル、および読み取り専用です。

現在の状態 :

現在の構成では、XXXXXk バイトの Save to Disk 領域が必要です。PHDISK はさらに多少の作業領域を必要とし、実際に必要な全領域のバイト数を自動的に計算します。

2 その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

POINT

- ▶ 富士通パソコンホームページ FM WORLD.NET (<http://www.fmworld.net>) にも、製品の情報が掲載されています。本書に記載されていない留意事項については、そちらをご覧ください。

Windows 95 の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows 95 の CD-ROM を挿入してください。」と表示される場合があります。このときは「c:\windows\options\cabs」と指定してください。

本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

他の OS を使うには

他の OS を使うには、いくつかの設定を行う必要があります。ただし、機種により使用できない OS もあります。

詳しくは、富士通パソコンホームページ FM WORLD.NET (<http://www.fmworld.net>) をご覧ください。

なお、インターネットをご利用になれない場合は、ご購入元にご確認ください。

Acrobat Readerについて

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。

バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください。（▶ P.89）。

プロトコルの設定

本パソコンでのネットワークの運用時には、必ず通信プロトコルを確認してください。「コントロールパネル」ウインドウの「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「ネットワークの設定」タブで確認および変更します。本パソコンのご購入時の設定では、「IPX/SPX 互換プロトコル」、「NetBEUI」が選択されていますので、接続するネットワークのプロトコルに合わせて変更してください。使用するプロトコルおよびその他の設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

プロトコルの変更は、必ず Windows セットアップを終了したあとに行ってください。

なお、ネットワークの運用については、TCP/IP プロトコルを使用することをお勧めします。

ネットワーク使用時の留意事項

次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。

- 2枚の LAN カード
- パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード

フロッピーディスクドライブユニットの着脱

フロッピーディスクドライブユニットが接続されていない状態でフロッピーディスクドライブにアクセスすると、応答に時間がかかる場合があります。

USB 機器の増設について

複数の USB 機器を増設して同時に使用すると、USB 機器の動作が不安定になる場合があります。この場合は、使用する機器だけを USB コネクタに接続してお使いください。

ワンタッチボタン設定のタブ表記について

ワンタッチボタンを設定するときに表示されるプロパティと、ワンタッチボタン自体の表記で異なるところがあります。次のように読み替えてお使いください。

ボタンの表記	プロパティでの表記
ボタン 1	Application A
ボタン 2	Application B
ボタン 3	Internet
ボタン 4	E-mail

フラットポイントの留意事項【MF】

- 他のマウスドライバをインストールしている場合、Alps Pointing-device Driver はインストールしないでください。
- 「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックすると、内蔵のフラットポイントの機能を設定できます。
- Alps Pointing-device Driver をインストールした状態で他のマウスドライバをインストールする場合には、「ドライバーズ CD」内の「¥Alps¥Readme.txt」を参照して Alps Pointing-device Driver をアンインストールしてください。

他のマウスドライバをインストールするには【MC】

PS/2 ホイールマウスをお使いになる場合などのマウスドライバをインストールするときは、次のように操作してください。

- タッチパネルがインストールされている場合（【MC】タッチパネルモデル）
まずタッチパネルをアンストールし、他のマウスドライバをインストールします。
タッチパネルをアンインストールするには、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンで「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」を削除します。
- クイックポイント IV ドライバがインストールされている場合（【MC】ベースモデル）
他のマウスドライバをインストールする前に、「ドライバーズCD」内の「¥Qpoint¥Readme.txt」を参照してクイックポイント IV ドライバをアンインストールしてください。

クリックポイント IV ドライバの留意事項 ([MC] ベースモデル)

- クリックポイント IV ドライバがインストールされている場合は、PS/2 マウスでのホイール機能はサポートしておりません。
- クリックポイント IV ドライバでは、「コントロールパネル」ウィンドウの「クリックポイント」アイコンをダブルクリックしてポインティングデバイスの機能を設定できます。
- クリックポイント IV ドライバはポインティングデバイスのドライバです。「スクロール／拡大表示機能の切り替え」タブの「スクロール／拡大表示機能の切り替え」などは、マウスでサポートしていません。マウス使用時は「クリックポイントのプロパティ」ダイアログボックスでの設定が正しく動作しないことがあります。
- アプリケーションによっては、「スクロール／拡大表示機能の切り替え」などの機能が使用できない場合があります。

タッチパネルドライバの留意事項 ([MC] タッチパネルモデル)

- タッチパネルドライバがインストールされている場合は、PS/2 マウスでのホイール機能はサポートしておりません。
- 矢印パットを設定した状態でタッチパネルドライバをアンインストールすると、「アプリケーションエラー」ダイアログが表示される場合がありますが、アンインストールに影響はありません。

Windows Media Player などによる動画および音声再生

動画ファイルおよび音声ファイルを複数同時に起動すると、正しく再生できない場合があります。このような場合はファイルを1つだけ起動して、再生することをお勧めします。

サウンドに関する留意事項 [MC]

[MC] では MIDI 音源機能をサポートしていません。

画面表示に関する留意事項

- 次のような場合に、画面が乱れたり画面上に線が見えることがあります。
 - Windows を起動、または終了するとき
 - サスPEND状態になるとき、または元の状態に戻るとき
 - 画面の解像度や発色数、リフレッシュレートを変更するとき
 - 全画面表示にする、または元の状態に戻すなど、画面が切り替わるとき
 これは一時的な画面の乱れで、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 3D ポインタなどを使用していると、動画などを再生中にマウスポインタが表示されなかつたり、ちらついて表示されたりすることがあります。このときは、「マウスのプロパティ」ダイアログボックス（「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「マウス」アイコンをダブルクリックすると表示されます）の「ポインタ」タブの「デザイン」を「(なし)」に設定してください。

「スキャンディスク」実行中のメッセージ

「スキャンディスク」を実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。

「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」

この警告メッセージはアプリケーションや、Windows のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表すものではありません。「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。

アプリケーションのインストール時／アンインストール時の留意事項

アプリケーションのインストール／アンインストールについては、次の点に注意してください。

- アプリケーションを削除する方法は、それぞれのアプリケーションごとに異なります。各アプリケーションのマニュアル、またはヘルプを参照してください。
- アプリケーションをアンインストールしたとき、そのアプリケーションに関連した、お客様が作成したファイルや設定した環境などが消えてしまうことがあります。アプリケーションを削除する前に、必要なファイルをフロッピーディスクなどにバックアップしておくことをお勧めします。
- アプリケーションをアンインストールする場合、共有モジュールは削除しないことをお勧めします。削除すると、インストールされている他のアプリケーションが起動できなくなるなど、他のアプリケーションに影響を与える場合があります。
- 各アプリケーションを再インストールしたあと、「スタート」メニューにショートカットは登録されても、アイコンが表示されない場合があります。このときは、パソコン本体を再起動してください。
- アプリケーションのインストールまたはアンインストールを行うときに、他のアプリケーションを起動していると、アプリケーションエラーが発生することがあります。必ず、起動中のアプリケーションをすべて終了してから行ってください。
- アプリケーションのインストール時に、インストールが完了したことを知らせるダイアログボックスが他のウィンドウなどに隠れてしまう場合があります。この場合は、【Alt】+【Tab】キーを何回か押して、完了を知らせるダイアログボックスを表示し、インストールを終了させてください。
- アプリケーションをインストールしたあと、タスクバーに不要なボタンが残る場合があります。この場合は、そのボタンをクリックすると、ボタンが消えます。
- 特定のファイルとアプリケーションが関連付けられている場合、そのアプリケーションをアンインストールすると、関連付けの設定も解除されます。
- 一部のアプリケーションでは、アンインストール後もスタートアップにアプリケーションのショートカットが登録されたままになっていることがあります。この場合は、「スタート」メニューの該当するショートカットを削除してください。

時刻の設定が反映されない場合

「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックス（「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックすると表示されます）で日付や時刻を変更したあと、「更新」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスを閉じてください。「キャンセル」または「」で閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

Memo

索引

記号

- 3 モードフロッピーディスク
- ドライバ 18
- ーのインストール 83

A

- Acrobat Reader 17, 111
- ーのインストール 89
- Alps Pointing-device Driver 19
- ーのインストール 93

C

- CD-ROM 20

D

- DirectX7.0a 17
- ーのインストール 72
- DMA の設定 70

F

- FAT16 21, 55
- FAT32 21, 55
- FDISK 56
- FM ー発修正 18, 98
- ーのインストール 90

I

- Intel SpeedStep 17
- ーのインストール 88
- Intellisync 17, 35
- ーのインストール 90
- Internet Explorer 3.02 19
- ーのインストール 91
- Internet Explorer 4.01 SP2 17
- ーのアンインストール方法 22
- ーのインストール 85

L

- LAN ドライバのインストール 81

M

- MFC ライブラリ 18
- MODEL 104
- MS-DOS モードで CD-ROM を利用する 28
- MS-IME95 17
- MS-IME97A 19
- ーのインストール 95

O

- OS 追加プログラム 18
- ー 49.7 日問題修正プログラム 18
- ー DMA 修正プログラム 18
- ー IFS マネージャ修正プログラム 18
- ー PC カード修正プログラム 18
- ー URL Security
- ー アップデートプログラム 18
- ー USB サポート 18
- ー 西暦 2000 年問題修正
- ー プログラム 18
- ー プリンタ ドライバ修正
- ー プログラム 18

P

- PCMCIA ソケット 20
- PHDISK ユーティリティ 108
- Product ID (Product Key) 10

S

- Save To Disk 領域 21, 108
- ー の作成 108

U

- URL Seculity アップデートプログラムのインストール 87
- USB サポートのインストール 68

V

- VirusScan 19, 26
- ー のインストール 92

W

Windows

一起動ディスク	15
—セットアップ	10
—のアップデート	66
—のインストール	61
Windows 95	17
—の CD-ROM	111
Windows 95 ツール	17, 22
Windows 環境調査ツール (WinDiag)	17
—のインストール	89

あ行

明るさの設定	43
アプリケーションの アンインストール	22
色数	29
お問い合わせ前の確認シート	106
音量の設定	44

か行

解像度	29
キーボード	20
機種名	104
クリックポイント IV ドライバ	19
—のインストール	94
—の留意事項	113
コンピュータウイルス	26
—の被害届け	27
—を発見した場合	27
コンピュータ名	11
—を変更する (Intellisync)	36

さ行

サウンドドライバのインストール	76
サウンド、ビデオ、およびゲームの コントローラ	20
サスPEND	39
サスPEND/レジューム機能	37
使用許諾契約書	11
省電力管理ユーティリティ	17, 41
—のインストール	88
情報サービス	104

西暦 2000 年問題

—修正モジュールのインストール	86
—留意事項	71
赤外線通信	34
—の設定	82
セキュリティボタン	19
—のインストール	91
セットアップ	10
全画面表示に切り換える	32
ソフトウェアライブラリ	
—アップデートプログラム	18
—のアップデート	96

た行

タッチパネル

—ドライバのインストール	87
—ドライバの留意事項	113
—の調整	13
他の OS	111
ディスクドライブ	20
ディスプレイ	
—アダプタ	20
—ドライバのインストール	72
動作状態	40
ドライバーズ CD	50
ドライバーズ CD 用 CD-ROM	
セットアップ起動ディスク	50, 52
—のコピー	15
トラブルシューティング	98

な行

名前	11
ネットワーク	
—アダプタ	20
—使用時の留意事項	112

は行

ハードディスク

—DMA の設定	70
—コントローラ	20
—の圧縮を解除する	53
—の領域を設定する	54
はじめよう！インターネット (@nifty)	19
—のインストール	92

表示装置を切り換える	30
フラットポイントの留意事項	112
プリンタの設定	84
プレインストール	
－仕様	17
－ソフト	17
フロッピーディスク	
－コントローラ	20
－ドライブクリーニング	
ユーティリティプログラム	18
－ドライブユニット	112
プロトコルの設定	111
ポータブル CD-ROM ドライブ	
－使うための設定	58
－ドライバのインストール	65
ポート (COM&LPT)	20

ま行

マウス	20
マルチメディアサウンド設定の	
インストール	79
モデム	20
－ドライバのインストール	79
－を設定する	33
モニター	20

や行

ユーザー登録	14
ユニバーサルシリアルバス	
コントローラ	20

ら行

レジューム	40
連絡先	104

わ行

ワークグループ	11
ワンタッチボタン設定	19
－のインストール	92

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。

ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中止、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関してても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

8. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows®をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの *Readme.txt* を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

FMV-6700MF9/X FMV-660MF9/X

FMV-660MC9/W

Windows® 95 モデル

ソフトウェアガイド

B5FH-2921-01-02

発行日 2001年4月

発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。